

令和5年度第1回さいたま市がん対策推進協議会

日時：令和5年5月17日（水）

午後1時30分から午後3時30分まで

場所：さいたま市役所

議会棟2階 第6委員会室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

- (1) さいたま市がん対策推進計画の進行管理について
- (2) （仮称）第2次さいたま市がん対策推進計画の策定について
- (3) がん患者のアピアランスケアについて

4 報 告

さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業について

5 閉 会

さいたま市がん対策推進協議会委員名簿

(令和4年10月13日から令和6年10月12日まで)

令和4年10月13日現在

	氏名	所属
1	いまむら 今村 信哉	共栄大学 客員教授
2	えんどう 遠藤 俊輔	自治医科大学附属さいたま医療センター センター長
3	おがわ 小川 ともかず 智一	市民公募委員
4	おがわ 小川 ともこ 知子	さいたま商工会議所女性会 副会長
5	かげやま 影山 ゆきお 幸雄	埼玉県立がんセンター 病院長
6	かねこ 金子 ひさあき 久章	さいたま市歯科医師会 副会長
7	きよた 清田 かずや 和也	さいたま赤十字病院 院長
8	くぼち 窪地 きよし 淳	さいたま市立病院 名誉院長 経営戦略特命参与
9	こやま 小山 のりえ 紀枝	Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～ (患者団体)
10	にいずみ 新泉 まさこ 真砂子	公益社団法人 埼玉県看護協会 与野訪問看護ステーション
11	のだ 野田 まさみつ 政充	一般社団法人 さいたま市薬剤師会 副会長
12	ばば 馬場 かずあき 一明	さいたま労働基準監督署 署長
13	まつだ 松田 くみこ 久美子	公益社団法人 埼玉県看護協会 会長
14	まつもと 松本 まさひこ 雅彦	さいたま市4医師会連絡協議会 一般社団法人 大宮医師会 会長
15	やくわ 八鍬 ゆうた 雄太	市民公募委員

(五十音順、敬称略)

令和5年度第1回さいたま市がん対策推進協議会
関係課職員名簿

所属	役職	氏名
保健部	部長	齋藤 貴弘
	副理事	今野 弘美
地域医療課	課長補佐兼係長	小島 淳史
いきいき長寿推進課	主任	島崎 純平
介護保険課	係長	榎本 学
市立病院 患者支援センター	副所長	田中 兼一
地域保健支援課	課長	清水 雅子
	課長補佐兼係長	池田 玲子
労働政策課	主査	倉持 智子
岩槻区役所保健センター	係長	井上 由理
教育委員会 健康教育課	指導主事	鴨志田 祐子
保健衛生総務課	課長	浅野 昌則
	主幹	永井 敏子
	係長	谷島 由香
	主査	松本 久美子
	主事	山口 菜奈
	主事	渡邊 理那

さいたま市がん対策推進協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例（平成26年さいたま市条例第44号）第15条第7項の規定に基づき、さいたま市がん対策推進協議会（以下「協議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会長)

第2条 協議会に会長を置き、委員の互選により定める。

- 2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。
- 3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会の会議は、会長が招集する。

- 2 会議の議長は、会長をもって充てる。
- 3 協議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。
- 4 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 会長が必要と認めるときは、委員以外の者に対し、出席を求めて説明若しくは意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(会議の公開)

第4条 協議会の会議は、公開とする。ただし、出席した委員の過半数の同意を得たときは、公開しないことができる。

(守秘義務)

第5条 協議会の委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第6条 協議会の庶務は、保健福祉局において処理する。

(委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

さいたま市がん対策推進計画・進行管理概要

基本理念	基本方針	目標	分野別施策	R4具体的取組・実績	取組の成果・課題・今後の方向性等
市民が互いに支え合える地域社会の実現	がんの予防と早期発見の推進	がん予防の推進	がんに関する正しい知識の普及	<p>※●は令和4年度新規事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ● SNSを活用しがん検診に関する普及啓発 ● 区役所でがん検診受診勧奨の放送を実施 ● 健康づくり教室でがん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る <ul style="list-style-type: none"> ・ がん教育出前講座の実施 ・ 市主催のイベント等や広報誌による周知 ・ がん体験者対象の交流イベントの実施 	<p>【成果】各団体による集合形式のイベントが再開され、市民に直接情報を発信する機会が増えたことで多くの市民に正しい知識を普及することができた。 【課題・今後の方向性】 SNSの活用など様々な媒体を使った取組が増加しているため、対象者に合った効果的な普及啓発の方法を今後も検討していく必要がある。</p>
			受動喫煙の防止と禁煙	<ul style="list-style-type: none"> ● 受動喫煙防止啓発チラシを作成し、市内の自治会に回覧 ● SNSを活用し禁煙に関する普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場巡視による喫煙状況調査の実施 ・ 禁煙についての講話を実施 ・ 禁煙外来の開設 ・ 禁煙相談 ・ 市主催のイベント等や広報誌、掲示による呼びかけ 	<p>【成果】チラシの回覧を自治会に依頼し、受動喫煙の機会が比較的多い家庭に対して新たにアプローチしたり、TwitterなどのSNSの活用や集合形式でのイベントにおいて積極的に啓発することで受動喫煙対策を推進できた。 【課題・今後の方向性】 望まない受動喫煙を防止するため、今後も禁煙や受動喫煙に関してより効果的にアプローチできるよう啓発方法を検討し取り組む必要がある。</p>
		がんの早期発見の推進	がん検診の受診率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● がん検診に関する講話を実施 ● SNSを活用したがん検診の啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人間ドックの利用費用補助 ・ 郵送検診の実施 ・ 未受診者への受診勧奨として啓発品の掲示・配布 ・ 精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ・ 乳がんのセルフチェック体験を実施 	<p>【成果】各団体とも啓発方法を工夫し受診勧奨を実施した。会場開催の講演会では、民間企業と連携しがん検診に関するリーフレットを配布することで検査の重要性を周知した。 【課題・今後の方向性】 若い世代からがん検診の必要性について理解を深め、受診率向上に繋がるよう効果的な取組を検討していく必要がある。</p>
		がん検診の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ● さいたま市版お薬手帳の作成 ● 訪問看護管理者研修 <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催 ・ 若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付 ・ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 	<p>【成果】多職種が適宜連携をとり支援することで、在宅療養を選択する患者が増加していると考えられる。 【課題・今後の方向性】 在宅療養を選択した患者に対してより効果的な支援になるよう既存の取組内容を精査していく必要がある。</p>	
	がん医療の充実と療養生活の質の向上	がん医療の充実と療養生活の質の向上	在宅医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 緩和ケアに関する連携体制の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和ケア研修会の開催 ・ 相談窓口の設置 	<p>【成果】開催方法を工夫しながら様々な活動が実施されている。 【課題・今後の方向性】 新型コロナウイルスの状況を鑑みながら他団体とも情報共有できる場を提供し、よりよいケアを検討していく必要がある。</p>
			緩和ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんに関する専門薬剤師の育成 ・ おしごと継続・就労相談会の開催 ・ コールセンターや相談ダイヤルの運営 	<p>【成果】がんサロンや患者会は人数制限やオンラインを活用するなど感染対策を実施したうえで活動を再開した団体も見られた。 【課題・今後の方向性】 がん患者や家族の不安に対してサポートできるよう、より一層多職種での連携と相談ができる場を提供することが必要である。</p>
	がん患者等の支援の充実	がん患者の支援体制の充実	相談支援体制の活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備 ● がん患者会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ がん患者やその家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書整備 ・ 啓発物の掲示・配布、イベントにおける普及啓発 	<p>【成果】集合のイベント等で市民に直接啓発物を配布し情報提供を行うとともに、動画配信やSNS等を活用した啓発に積極的に取り組むことで若い世代へのアプローチに繋がった。 【課題・今後の方向性】 集合とオンラインを併用したイベントの実施により幅広い世代が参加しやすくなったため、ライフステージに応じた開催方法を検討する必要がある。</p>
			情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ おしごと継続・就労相談会の開催 ・ 就労支援 ・ 大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 	<p>【成果】市内事業所等と連携し、継続的に取組を実施できた。 【課題・今後の方向性】 事業所等との連携を活発に行うことで、市内全体に取組を広げていくことが重要である。</p>
		働く世代へのがん対策の充実	市内事業所等との連携によるがん対策の充実		

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進			
(2)目標	がん予防の推進			
(3)分野別施策	がんに関する正しい知識の普及			
		令和3年度	令和4年度	
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民	<ul style="list-style-type: none"> ●乳がん体験者のための運動教室 ○月1度の体験者対象おしゃべり会 ○不定期再発転移の方のおしゃべり会 ○乳がん体験者のためのヨガ 	<ul style="list-style-type: none"> ○月1度 体験者対象おしゃべり会 ○不定期 再発転移経験者のおしゃべり会 ○体験者対象 イベント各種 ○乳がん体験者のためのヨガ(NYOGA) ○乳がん体験者のための運動教室(エアロ、筋トレ) 	<ul style="list-style-type: none"> ○月1度 体験者対象おしゃべり会 ○不定期(4ヶ月に1程度)再発転移経験者のおしゃべり会 ○体験者対象 イベント各種 ○がんを体験した女性のためのヨガ(NYOGA) ○がんを体験した女性のための運動教室(筋トレ、ループ体操、ウォーキングなど)
	事業者	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○定期健康診断 ○会報誌でがん検診受診勧奨
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ●がんに関する講話 ●癌に関する専門薬剤師の育成 ●がん治療の最前線 ○がん診療連携セミナーの開催 ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がん相談支援センターの活用 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する ○がん患者のアピアランスケア支援 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○がん薬物療法看護 ○がん性疼痛看護 ○がん患者のアピアランスケア ○がんサバイバー ○訪問看護師育成プログラム普及 ○教育ステーション事業 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会 ○緩和ケア外来 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○がん関連の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備 ●口腔がんに関する研修 ○がん診療連携セミナーの開催 ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成(資格取得に係る費用の助成) ○臨床腫瘍学講義の実施(自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている) ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会) ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がん相談支援センターの活用 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する ○がん患者のアピアランスケア支援 ○がん診療連携セミナーへの参加 ○口腔がん検診 学術講演会 ○口腔がん健診検討委員会 ○口腔がんに関する講話・健診・歯科相談 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○がん薬物療法看護 ○がん性疼痛看護 ○がんサバイバー ○がん治療の最前線 ○在宅における緩和ケア/在宅での看取り ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会 ○緩和ケア外来 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○がん関連の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●市民向け講演会 ●入院時連携体制の構築(服薬) ●地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進 ●市民向け講演会の実施 ●患者・家族の生き方から学ぶ緩和ケア(在宅) ●ステーション協会での研修アナウンス ●市民公開講座の開催 ●市民向け講演会 ○がん診療連携セミナーの開催 ○一般定期健康診断 ○特定業務従事者に対する健康診断 ○特殊健康診断 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成(資格取得に係る費用の助成) ○臨床腫瘍学講義の実施(自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている) ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会) ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○がん相談支援センターの活用 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する ○がん患者のアピアランスケア支援 ○経口抗がん剤使用患者への説明用紙の整備 ○さいたま赤十字病院がん診療連携セミナーへの参加 ○口腔がん検診講習会 ○口腔がんに関する講話・健診・歯科相談 ○口腔がんに関する研修会 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○がん薬物療法看護 ○がん性疼痛看護 ○がんサバイバー ○がん治療の最前線 ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会 ○緩和ケア外来 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○がん関連の情報提供 ○がん患者サロン(いこいの場)

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

- SNSを活用したがん検診の啓発
- けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発
- 乳がん月間の取り組み
- 中央区Twitterがん検診に関する記事を掲載
- 区役所ロビーにて、乳がん自己検診法について講話と啓発活動、資料配布
- 中央区Twitter乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- 中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載
- がん教育出前講座
- がん対策推進講演会
- がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付
- さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発
- 精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨
- 中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架
- がん検診受診勧奨
- がん精健未受診フォロー
- 健康相談
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- 健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定
- がん検診精密検査未受診フォロー
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスター等の設置
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区主催のイベントでの啓発活動
- 大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発
- 大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨
- 教室の中でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載
- 保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布
- 保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- 市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 体組成測定会にがん検診啓発パンフレットを配布
- がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・プラザウエストの階段に、がんに関する健康クイズを掲示
- ロビーコンサートにて、女性のがんについての啓発ポケットティッシュ配布
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発
- 保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
- 地区依頼教育での乳がん検診の説明
- 庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示
- 禁煙相談の実施
- 成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
- さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
- 乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
- 区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載
- 区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
- 保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
- 岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
- 区主催事業での啓発
- 保健学習の実施
- 健康教育研究委嘱
- 各学校でのがん教育の取組の支援
- 文部科学省主催研修会 参加

市

- がん対策推進ミニ講演会
- 民間企業と連携しがん検診に関する周知
- SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信
- 区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施
- 健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る
- Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発
- がん教育出前講座
- がん対策推進講演会
- がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付
- さいたま市二十歳の集いでの子宮頸がん検診の啓発
- 精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨
- 大宮図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架
- SNSを活用したがん検診の啓発
- がん検診受診勧奨
- がん精健未受診フォロー(女性のがん)
- 健康相談(随時)
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発
- がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスターやのぼり旗の設置
- 大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区主催のイベントでの啓発活動
- 大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発
- 保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 乳がん月間の取り組み(センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験)
- がん検診受診勧奨
- (1)保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- (2)保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- (3)区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布
- (4)市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- 乳がん予防・早期発見についての普及啓発
- (1)児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話
- (2)区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布(ローズリボンキャンペーンとして実施)
- (3)区役所ロビーにて、ローズリボンキャンペーンとして乳がんのセルフチェック体験を実施
- (4)市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- (5)中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話
- (6)支援センターにて、乳がん予防・早期発見について講話
- (7)むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話
- (8)区民まつりにて、乳がんのセルフチェック体験を実施
- 禁煙に関する啓発
- (1)保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施
- (2)禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- (3)市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載
- 広報
- (1)中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載
- (2)中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載
- (3)中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- 区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置
- 健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙、受動喫煙の啓発
- 区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布
- 各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- 浦和区健康まつりにおいて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発

- 女性のがんについての講話(教室参加者へのミニ講話)
- 大宮図書館での普及啓発
- 区内保育園でのがんについての知識の普及啓発とがん検診受診勧奨
- むし歯予防教室にて、乳がんに関する講話の機会を設け、若い世代からの予防・検診の重要性等の意識づけを図る
- がん教育出前講座
- がん対策推進講演会
- がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付
- さいたま市二十歳の集いでの子宮頸がん検診の啓発
- 精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨
- 中央図書館及び大宮図書館でがん関連情報特集コーナーを作成、資料を配架
- SNSを活用したがん検診の啓発
- がん検診受診勧奨
- 駅前での啓発活動
- がん精健未受診フォロー(女性のがん)
- 健康相談(随時)
- 乳がんについての講話(依頼教育)
- エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布
- 健康教育においてミニ講義
- 子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験
- けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発
- がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)
- 区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発
- がん検診ポスターやのぼり旗の設置
- 大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨
- 健康教室での教育・啓発活動
- 大宮区主催のイベントでの啓発活動
- 大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発
- 保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨
- 展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置
- 乳がん月間の取り組み(センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験)
- SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信
- がんに関する教育
- (1)保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施
- (2)児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話
- (3)保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施
- (4)中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話
- (5)むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話
- がん予防・早期発見についての普及啓発
- (1)保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- (2)禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布
- (3)区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布、乳がんセルフチェック体験を実施(ローズリボンキャンペーンとして実施)
- (4)区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布
- 広報(区報)
- (1)市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載
- (2)市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載
- (3)市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- 広報(Twitter掲載)
- (1)中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載
- (2)中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載
- (3)中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
- 区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置
- 区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施
- 健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙の啓発
- 区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布
- 各種教室等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
- 健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
- 女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
- 乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用
- Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

		<ul style="list-style-type: none"> ○乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用 ○Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教室でのがん検診受診の啓発 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明 ○庁舎内の啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示 ○禁煙相談の実施 ○体組成測定会でのがん予防・検診受診に関するPR ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義 ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験 ○区主催事業での啓発 ○保健学習の実施 ○各学校でのがん教育の取組の支援 ○文部科学省主催研修会 参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明 ○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示 ○禁煙相談の実施 ○体組成測定会でのがん予防・検診受診に関するPR ○受動喫煙に関する啓発(ポケットティッシュ、チラシの配布等) ○Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義 ○緑区区民まつりにてがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験 ○区主催事業での啓発 ○保健学習の実施 ○各学校でのがん教育の取組の支援 ○文部科学省主催研修会 参加
--	--	---	---

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4) 評価指標		ベースライン	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度
75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対)	全体(男性・女性)	79.6(H25)	下がる	69.76(R2)	(達成) ↗	未公表		
	男性	100.3(H25)	下がる	82.53(R2)	(達成) ↗	未公表		
	女性	59.9(H25)	下がる	57.88(R2)	(達成) ↗	未公表		
(モニタリング)SMR(標準化死亡率比全国を1としたとき)	男性	0.93(H20-24)	—	0.97(H28~R2)	↗	未公表		
	女性	0.95(H20-24)	—	0.99(H28~R2)	↗	未公表		
特定健康診査の受診率	35.1%(H26)	60%以上	32.1%(R2)	↘	34.9%(R3)	↘		
特定保健指導の実施率	31.1%(H26)	60%以上	31.7%(R2)	↗	28.6%(R3)	↘		
毎日、三食野菜を食べている人の割合	16歳未満	29.1%(H23)	増える	37.7%	(達成) ↗			
	40~64歳男性	21.7%(H23)	30%以上	18.8%	↘			
	40~64歳女性	28.2%(H23)	30%以上	28.0%	↘			
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合	56.6%(H24)	65%以上	58.5%	↗				
生活習慣のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合 (1日当たりの純アルコール摂取量 男性60g 女性20g)	成人男性	4.9%(H24)	2.8%以下	7.1%	↘			
	成人女性	19.7%(H24)	6.4%以下	25.3%	↘			
	40歳代男性	8.8%(H24)	4.6%以下	10.4%	↘			
	50歳代男性	10.0%(H24)	5.8%以下	9.1%	↗			
	20~30歳代女性(60g以上)	4.6%(H24)	0.2%以下	2.6%	↗			
1日1時間以上歩く人の割合	男性	34.0%(H24)	44%以上	34.0%	→			
	女性	29.0%(H24)	38%以上	26.1%	↘			
運動習慣のある人の割合(30分、週2回以上の運動を継続している人)	男性	31.0%(H24)	41%以上	33.9%	↗			
	女性	25.6%(H24)	35%以上	23.8%	↘			
	20~64歳男性	21.8%(H24)	32%以上	29.7%	↗			
	20~64歳女性	19.9%(H24)	30%以上	19.1%	↘			
	65歳以上男性	38.1%(H24)	48%以上	30.4%	↘			
65歳以上女性	32.9%(H24)	43%以上	30.8%	↘				
主な成果・課題	<p>オンラインを積極的に活用する団体が多くみられ、SNSなどのツールを利用し取組の幅を広げることで、新たな層に向けて情報を発信し、正しい知識を普及させることができた。</p> <p>一方でオンラインでの実施は、セキュリティやコストについて考慮の必要がある。</p> <p>オンラインのメリット、デメリットを把握し、取組の目的に合致した効果が得られるか予測した上で、利用方法を検討することが課題である。</p>				<p>各団体による集合形式のイベントが再開され、市民に直接情報を発信する機会が増えたことで多くの市民に正しい知識を普及することができた。</p> <p>SNSの活用など様々な媒体を使った取組が増加しているため、対象者に合った効果的な普及啓発の方法を今後も検討していくことが重要である。</p>			

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進			
(2)目標	がん予防の推進			
(3)分野別施策	受動喫煙の防止と禁煙			
	令和3年度	令和4年度	令和5年度(予定)	
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民			
	事業者	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	
	保健医療関係者	○病院内および敷地内の全面禁煙 ○職場巡視における喫煙状況調査の実施 ○敷地内全面禁煙 ○禁煙外来の開設 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施 ○禁煙外来の受診勧奨 ○病院敷地内での禁煙措置 ○院内・敷地内での全面禁煙	○病院内および敷地内の全面禁煙 ○職場巡視における喫煙状況調査の実施 ○敷地内全面禁煙 ○禁煙外来の開設 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○病院敷地内での禁煙措置 ○院内・敷地内の全面禁煙	
	市	●受動喫煙対策ポスターを作成し、市内全ての指定喫煙場所に掲示 ●中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載 ○がん教育出前講座 ○がん検診受診勧奨 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○公用自転車に受動喫煙のポスターを張り付け普及啓発を実施 ○禁煙週間の取り組み ○禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配架 ○市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 ○禁煙週間に保健センター窓口やブラザウエスト等で、ポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布。区役所内エレベーター・階段で健康クイズを掲示 ○市報桜区版に禁煙の効果についての記事を掲載 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○地区依頼教育での乳がん検診の説明 ○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示 ○禁煙相談の実施 ○サウスピア7階の窓ガラスに、禁煙を促すキャッチコピーを掲示 ○受動喫煙に関する啓発 ○血圧測定コーナーへがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○区主催事業での啓発 ○保健学習の実施	●受動喫煙防止啓発チラシを作成し、市内の自治会に回覧 ●SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信 ●区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施 ●健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る ●Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発 ○がん教育出前講座 ○がん検診受診勧奨 ○禁煙週間の取り組み(特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発) ○禁煙に関する啓発 (1)保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (2)禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3)市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 ○広報 (1)中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載 (2)中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載 (3)中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 ○区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置 ○区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載 ○健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙、受動喫煙の啓発 ○保健センター窓口にて禁煙指導用肺モデル、タールサンプルの設置 ○禁煙週間に保健センター窓口で啓発用ポケットティッシュの配布 ○区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発 ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教室でのがん検診受診の啓発 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明 ○庁舎内の啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示 ○禁煙相談の実施 ○受動喫煙に関する啓発(ポケットティッシュの配布等) ○サウスピア7階の窓ガラス(武蔵浦和側)に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載	●むし歯予防教室にて、乳がんに関する講話の機会を設け、若い世代からの予防・検診の重要性等の意識づけを図る ○がん教育出前講座 ○禁煙外来リスト配布及び第4版の作成 ○がん検診受診勧奨 ○健康教育においてミニ講義 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発 ○禁煙週間の取り組み(特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発) ○SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信 ○がんに関する教育 (1)保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2)児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話 (3)保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (4)中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話 (5)むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話 ○がん予防・早期発見についての普及啓発 (1)保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (2)禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3)区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布、乳がんセルフチェック体験を実施(ローズリボンキャンペーンとして実施) (4)区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布 ○広報(区報) (1)市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 (2)市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 (3)市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 ○広報(Twitter掲載) (1)中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載 (2)中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載 (3)中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 ○区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置 ○区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施 ○区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載 ○健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙の啓発 ○保健センター窓口にて禁煙指導用肺モデル、タールサンプルの設置 ○禁煙週間に保健センター窓口で啓発用ポケットティッシュの配布 ○区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布 ○各種教室等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

				<ul style="list-style-type: none"> ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験 ○区主催事業での啓発 ○保健学習の実施 		<ul style="list-style-type: none"> ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明 ○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示 ○禁煙相談の実施 ○受動喫煙に関する啓発(ポケットティッシュ、チラシの配布等) ○サウスピーア7階の窓ガラス(武蔵浦和側)に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示 ○Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験 ○区主催事業での啓発 ○保健学習の実施 			
(4)評価指標				令和3年度		令和4年度		令和5年度	
受動喫煙の機会を有する人の割合	行政機関	2.3% (H24)	0%	0.9%	↗				
	医療機関	1.2% (H24)	0%	0.6%	↗				
	職場	20.5% (H24)	受動喫煙のない職場の実現	12.7%	↗				
	家庭	17.6% (H24)	3%以下	14.0%	↗				
	飲食店	36.8% (H24)	15%以下	8.4%	(達成)↗				
	学校	2.7% (H24)	小学校、中学校、高校は0% それ以外は受動喫煙のない環境	0.8%	↗				
	遊技場	11.5% (H24)	減らす	3.8%	(達成)↗				
成人の喫煙率	成人男性	24.8% (H24)	18%以下	19.7%	↗				
	成人女性	9.3% (H24)	5%以下	6.4%	↗				
未成年者の喫煙率		1.5% (H24)	なくす	0.7%	↗				
主な成果・課題				<p>令和2年4月1日に改正健康増進法が全面施行されたことを背景に、各施設における受動喫煙の機会を有する人の割合が減少した。イベントでの周知は一部中止となった取組もあるが、禁煙外来や禁煙相談などの取組は継続して実施したことに加え、市内指定喫煙所へのポスター設置やSNSへの記事掲載など、これまで行わなかった方法で啓発を実施した。これにより新たなターゲットへアプローチしたことで受動喫煙の防止と禁煙を進めることができた。 今後も様々な方法を検討し、より多くの世代に伝わる取組を継続することが重要である。</p>		<p>令和3年度の結果から、健康増進法により飲食店での受動喫煙の機会は減少していると予測される。配慮義務に関するチラシの回覧を自治会に依頼することで、受動喫煙の機会が比較的多い家庭に対して新たにアプローチしたり、TwitterなどのSNSの活用や集合形式でのイベントにおいて積極的に啓発することができた。 望まない受動喫煙を防止するため、今後も禁煙や受動喫煙に関してより効果的にアプローチできるよう啓発方法を検討し取り組むことが必要である。</p>			

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がんの予防と早期発見の推進		
(2)目標	がんの早期発見の推進		
(3)分野別施策	がん検診の受診率の向上		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		
	事業者	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	○総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知
	保健医療関係者	○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○がん検診	●さいたま市版お薬手帳の作成 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○口腔がん健診検討委員会 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○がん検診
市	●SNSを活用したがん検診の啓発 ●けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発 ●乳がん月間の取り組み ●中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載 ●区役所ロビーにて、乳がん予防・早期発見について講話と啓発活動、資料配布 ●中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 ○がん教育出前講座 ○がん検診対象初年度無料事業制度の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○さいたま市成人式での子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○がん検診受診勧奨 ○がん精健未受診者フォロー ○健康相談 ○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のポケットティッシュ配布 ○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布 ○健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定 ○がん検診精密検査未受診者フォロー ○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発 ○がん検診ポスター等の設置 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨 ○教室の中でのがん検診受診勧奨 ○ポケットティッシュの配布 ○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置 ○がん検診の啓発品の作成・配布 ○保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 ○市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 ○保健センター窓口で、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するパンフレット・啓発品を配布 ○保健センター主催健康教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 ○市報桜区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 ○体組成測定会にがん啓発パンフレットを配布 ○がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間に区役所・プラザウエスタの階段に、がんに関する健康クイズを掲示 ○ロビーコンサートにて、女性のがんについての啓発ポケットティッシュ配布 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発 ○地区依頼教育での乳がん検診の説明 ○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示	●民間企業と連携しがん検診に関する周知 ●区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施 ●健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る ●Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発 ○がん教育出前講座 ○がん検診対象初年度無料事業制度の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○さいたま市二十歳の集いでの子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○大宮図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架 ○SNSを活用したがん検診の啓発 ○がん検診受診勧奨 ○がん精健未受診者フォロー(女性のがん) ○健康相談(随時) ○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のチラシ配布 ○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布 ○けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発 ○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者) ○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発 ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発 ○保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨 ○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置 ○乳がん月間の取り組み(センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験) ○がん検診受診勧奨 (1)保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2)保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3)区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布 (4)市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 ○乳がん予防・早期発見についての普及啓発 (1)児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話 (2)区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布(ローズリボンキャンペーンとして実施) (3)区役所ロビーにて、ローズリボンキャンペーンとして乳がんのセルフチェック体験を実施 (4)市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 (5)中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話 (6)支援センターにて、乳がん予防・早期発見について講話 (7)むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話 (8)区民まつりにて、乳がんのセルフチェック体験を実施 ○広報 (1)中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載 (2)中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載 (3)中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 ○区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置	○会報誌でがん検診受診勧奨 ●地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○公開講座の開催 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○口腔がん検診講習会 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○さいたま市版お薬手帳の作成 ○がん検診 ●口腔がん検診 ●女性のがんについての講話(教室参加者へのミニ講話) ●大宮図書館での普及啓発 ●区内保育園でのがんについての知識の普及啓発とがん検診受診勧奨 ●むし歯予防教室にて、乳がんに関する講話の機会を設け、若い世代からの予防・検診の重要性等の意識づけを図る ○がん教育出前講座 ○がん検診対象初年度無料事業の実施 ○がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付 ○さいたま市二十歳の集いでの子宮頸がん検診の啓発 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○中央図書館及び大宮図書館でがん関連情報特集コーナーを作成、資料を配架 ○SNSを活用したがん検診の啓発 ○がん検診受診勧奨 ○駅前での啓発活動 ○がん精健未受診者フォロー(女性のがん) ○健康相談(随時) ○乳がんについての講話(依頼教育) ○育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のチラシ配布 ○エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布 ○健康教育においてミニ講義 ○子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験 ○けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発 ○がん検診精密検査未受診者フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者) ○区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発 ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発 ○保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨 ○展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置 ○乳がん月間の取り組み(センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験) ○がんに関する教育 (1)保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2)児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話 (3)保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (4)中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話 (5)むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話 ○がん予防・早期発見についての普及啓発 (1)保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (2)禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3)区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布、乳がんセルフチェック体験を実施(ローズリボンキャンペーンとして実施) (4)区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布 ○広報(区報) (1)市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 (2)市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
 ○血圧測定コーナーへがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置
 ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載
 ○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示
 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
 ○区主催事業での啓発

○区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載
 ○区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布
 ○各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
 ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
 ○浦和区健康まつりにおいて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発
 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
 ○乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用
 ○Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発
 ○保健センター主催の生活習慣病予防教室でのがん検診受診の啓発
 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明
 ○庁舎内の啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示
 ○体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR
 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置
 ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載
 ○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示
 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験
 ○区主催事業での啓発

(3)市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
 ○広報(Twitter掲載)
 (1)中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載
 (2)中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載
 (3)中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載
 ○区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置
 ○区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施
 ○区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載
 ○区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布
 ○各種教室等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発
 ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発
 ○女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発
 ○乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用
 ○Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発
 ○保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発
 ○地区依頼教育での乳がん検診(自己検診法を含む)の説明
 ○庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示
 ○体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR
 ○Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発
 ○成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義
 ○血圧測定コーナー(区民課前)へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置
 ○緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など
 ○さいたま市報(緑区版)へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載
 ○乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施
 ○区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載
 ○区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示
 ○区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置
 ○保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発
 ○岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示
 ○区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験
 ○区主催事業での啓発

(4)評価指標		ベースライン	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
がん検診受診率	肺がん検診	33.8% (H26)	40%以上	27.8%	未公表	
	大腸がん検診	31.1% (H26)	40%以上	24.6%	未公表	
	胃がん検診	23.9% (H26)	40%以上	20.4%	未公表	
	乳がん検診	23.6% (H26)	50%以上	18.9%	未公表	
	子宮がん検診	30.3% (H26)	50%以上	26.1%	未公表	
主な成果・課題				<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度に見合わせた取組を再開したり、新たな方法でがん検診受診勧奨を行ったりするなど、各団体ともがん検診の受診率向上に向け積極的に取り組んだが、令和3年度も新型コロナウイルスの流行前と比較すると、受診者数が減少傾向にあると予測される。 安心して受診できるよう基本的な感染対策を行い受診環境を整備するとともに、感染状況に応じた啓発活動を行い、受診率向上に繋げる必要がある。</p>	<p>はがきの送付や館内放送、SNS等を活用した啓発など、各団体とも啓発方法を工夫し受診勧奨を実施しているが、新型コロナウイルスの流行前と比較すると、令和2年度及び令和3年度の減少の影響から令和4年度も受診者数は減少傾向にあると予測される。 若い世代からがん検診の必要性について理解を深め、受診率向上に繋がるよう効果的な取組を検討していく必要がある。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針		がんの予防と早期発見の推進							
(2)目標		がんの早期発見の推進							
(3)分野別施策		がん検診の質の向上							
				令和3年度		令和4年度		令和5年度(予定)	
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民								
	事業者								
	保健医療関係者	○がん検診の実施及び受診勧奨 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充		●さいたま市版お薬手帳の作成 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○口腔がん検診 学術講演会 ○口腔がん健診検討委員会 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充		●口腔がん検診 ○がん検診の実施及び受診勧奨 ○口腔がん検診講習会 ○口腔がんに関する研修会 ○さいたま市版お薬手帳の作成			
	市	○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診フォロー		●民間企業と連携しがん検診に関する周知 ○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)		○精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨 ○がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)			
(4)評価指標		ベースライン	目標値	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
がん検診精密検査受診者の割合	肺がん検診	77.50% (H25)	90%以上	83.4%(R2)		未公表			
	大腸がん検診	68.36% (H25)	90%以上	70.2%(R2)		未公表			
	胃がん検診	79.09% (H25)	90%以上	96.1%(R2)	(達成)	未公表			
	乳がん検診	90.43% (H25)	90%以上	90.7%(R2)	(達成)	未公表			
	子宮がん検診	73.20% (H25)	90%以上	79.9%(R2)		未公表			
主な成果・課題		新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診受診率と同様に、がん検診精密検査受診者の割合も減少が懸念される。コロナ禍においても継続してがん検診精密検査未受診者のフォローを行い、対象者へ精密検査の重要性を伝え、がん検診精密検査受診者の割合増加に努める必要がある。				がん検診精密検査受診者の割合は増加傾向にあるが、部位により割合に差が見られる。会場開催の講演会で、民間企業と連携しがん検診に関するリーフレットを配布することで検査の重要性を周知した。継続して個別に受診勧奨やフォローを行うとともに、精密検査の割合が低い部位に関する検査の重要性を伝えることが重要である。			

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策	在宅医療の推進				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民		令和3年度	令和4年度	令和5年度(予定)
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ●癌に関する専門薬剤師の育成 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○退院調整看護師の活用 ○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療 ○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○在宅医療支援薬局リストの改訂 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○訪問看護師育成プログラム普及 ○訪問看護ステーション体験実習 ○訪問看護ステーション経営サポート ○コールセンターの設置・運営 ○教育ステーション事業 ○退院調整看護師との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●緩和ケアに関する連携体制の構築 ●さいたま市版お薬手帳の作成 ●訪問看護管理者研修 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○退院調整看護師の活用 ○大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療 ○在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○在宅医療支援薬局リストの改訂 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○在宅における緩和ケア/在宅での看取り ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○訪問看護ステーション体験実習 ○訪問看護ステーション経営サポート(医療事務研修) ○コールセンターの運営 ○教育ステーション事業 ○退院両性看護師、地域連携室との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●入院時連携体制の構築(服薬) ●地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進 ●ステーション協会での研修アナウンス ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○退院調整看護師の活用 ○大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療 ○在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○さいたま市版お薬手帳の作成 ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○訪問看護ステーション体験実習 ○訪問看護ステーション経営サポート ○訪問看護相談・コールセンターの運営 ○教育ステーション事業 ○訪問看護管理者研修 ○退院調整看護師、地域連携室との連携 	
	市	<ul style="list-style-type: none"> ●若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ○在宅医療・介護連携に関する相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ○在宅医療・介護連携に関する相談支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付 ○在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討 ○医療・介護関係者の研修 ○地域住民への普及啓発 ○医療・介護関係者の情報共有の支援 ○切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 ○在宅医療・介護連携に関する相談支援 	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(モニタリング)在宅療養支援診療所・病院数	70(H25)	—	224	224	
(モニタリング)がん患者の在宅看取り率	12.3(H25)	—	30.0(R2)	38.7(R3)	
在宅療養を支える関係機関における研修や会議等を開催する団体数	—	増える	8	9	(達成) ↗
主な成果・課題	令和2年度はコロナ禍により中止された研修や講演会等もオンラインを活用し実施された。また、がん患者の在宅療養を支援するため、新規事業としてがんに関する専門薬剤師の育成や若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付といった取組が開始された。これらの取組によって、在宅療養を希望する患者が療養先を検討する上で、以前に比べ在宅を選択しやすくなったと考えられる。新たに開始された取組について、より効果的な取組とするため、内容を精査していく必要がある。		さいたま市独自の地域性の高いお薬手帳が作成され、より地域に根付いた取組が開始された。多職種が適宜連携をとり退院支援を行ったり、在宅療養中のサポートが充実することで、在宅療養を選択する患者が増加していると考えられる。既存の取組について、在宅療養を選択した患者に対して、より効果的な支援になるよう内容を精査していく必要がある。		

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(3)分野別施策	緩和ケアの充実				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業			令和3年度	令和4年度	令和5年度
	市民				
	事業者				
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ●癌に関する専門薬剤師の育成 ●人生会議相談窓口の設置 ○緩和ケア研修会の開催 ○緩和ケアチーム合同カンファレンス ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○緩和ケアチームを組織 ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療 ○在宅医療・緩和ケアに関する研修会の開催 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席 ○癌治療における薬業連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催 ○がん性疼痛看護 ○教育ステーション事業 ○専門医による緩和ケアに関するがんカウンセリング ○緩和ケアチームによる院内ラウンド ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会 ○緩和ケア外来 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会開催 	<ul style="list-style-type: none"> ●緩和ケアに関する連携体制の構築 ○緩和ケア研修会の開催 ○緩和ケアチーム合同カンファレンス ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○緩和ケアチームを組織 ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療 ○在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催 ○癌治療における薬業連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○緩和ケアに関する連携体制の構築 ○がん性疼痛看護 ○在宅における緩和ケア/在宅での看取り ○緩和ケアチームによる院内ラウンド ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会 ○緩和ケア外来 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会開催 ○人生会議相談窓口の設置(Advance Care Planning) 	<ul style="list-style-type: none"> ●入院時連携体制の構築(服薬) ●地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進 ●患者・家族の生き方から学ぶ緩和ケア(在宅) ●ステーション協会での研修アナウンス ○緩和ケア研修会の開催 ○緩和ケアチーム合同カンファレンス ○がん相談 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○看護師特定行為研修の実施 ○がんサロンの開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○緩和ケアチームを組織 ○告知後の患者支援 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる ○がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導 ○経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療 ○在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催 ○癌治療における薬業連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○訪問看護ステーション体験実習 ○教育ステーション事業 ○訪問看護管理者研修 ○専門医による緩和ケアに関するがんカウンセリング ○緩和ケアチームによる院内ラウンド ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会 ○緩和ケア外来 ○緩和ケアチーム活動 ○緩和ケア研修会開催 ○人生会議相談窓口の設置(Advance Care Planning) 	
	市				
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
院外における活動を実施する緩和ケアチーム数	—	増える	3チーム(市内の地域がん診療連携拠点病院)	6チーム(市内の地域がん診療連携拠点病院、埼玉県がん診療指定病院)	
主な成果・課題			令和3年度から市内の埼玉県がん診療指定病院からも取組実績が情報共有されたことで、市内の医療機関において、緩和ケア研修会や緩和ケア外来など、緩和ケアを充実すべく様々な活動を行っていることが把握できた。これにより、より一層の緩和ケアの充実に向け、各団体が共有した情報を元に、取組を効果的なものに改善していく足がかりができた。 今後は緩和ケアに関わる多職種に取組を広げ、よりよいケアの在り方を検討していく必要がある。	緩和ケアチーム活動や緩和ケア外来、緩和ケア研修会など、様々な活動が継続的に行われている。緩和ケア研修会は、人数制限や院内の医療従事者のみを対象にするなど、今年度も新型コロナウイルスの影響を受けながらも工夫して実施している。 今後は新型コロナウイルスの状況を鑑みながら、他団体とも情報共有できる場を提供し、よりよいケアを検討していく必要がある。	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上				
(2)目標	がん患者の状況に応じた支援体制の充実				
(3)分野別施策	相談支援体制の活用				
取組事例 ●新規事業 ○継続事業			令和3年度	令和4年度	令和5年度(予定)
	市民				
	事業者				●がん治療による休職者への支援
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ●癌に関する専門薬剤師の育成 ○がん相談 ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会 ○がんゲノム医療 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん相談支援センターの活用 ○就労支援 ○浦和在宅医療支援相談センターを通じたがん患者への在宅医療 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施 ○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催 ○コールセンターの設置・運営 ○教育ステーション事業 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○がん相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ●緩和ケアに関する連携体制の構築 ○がん相談 ○がんサロン・アピアランスケア ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援) ○がんゲノム医療 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成(資格取得に係る費用の助成) ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会) ○がん相談支援センターの活用 ○就労支援 ○大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催 ○口腔がん検診 学術講演会 ○口腔がん健診検討委員会 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○緩和ケアに関する連携体制の構築 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○コールセンターの運営 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○退院調整看護師、地域連携室との連携 ○がん相談支援センター ○がん相談支援センター 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔がん検診 ●入院時連携体制の構築(服薬) ●地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進 ○がん相談 ○がんサロン・アピアランスケア・ピアサポート ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援) ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成(資格取得に係る費用の助成) ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○がん患者サロン、はなみずき会(ミニレクチャー、座談会) ○がん相談支援センターの活用 ○就労支援 ○大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催 ○口腔がん検診講習会 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○訪問看護ステーション経営サポート ○訪問看護相談・コールセンターの運営 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○退院調整看護師、地域連携室との連携 ○がん相談支援センター ○がん患者サロン(いこいの場) 	
	市	<ul style="list-style-type: none"> ○がん対策推進講演会 ○がん精健未受診フォロー ○健康相談 ○がん検診ポスター等の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん精健未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談(随時) ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ○がん精健未受診フォロー(女性のがん) ○健康相談(随時) ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 ○受動喫煙に関する啓発(ポケットティッシュ、チラシの配布等) 	
(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2017」について、市ホームページで情報提供を実施。 (達成) ↗	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2018」について、市ホームページで情報提供を実施。 (達成) ↗	
主な成果・課題			<p>がん相談については継続して実施されているが、令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染防止のため、がんサロンは中止した団体が多かった。がん相談ではコロナ禍による面会制限や治療に伴う感染リスク等、治療中の不安について相談が寄せられ、相談窓口が活用されている実態はあるが、患者や家族からは直接会って話をするがんサロンの開催を要望する声もある。</p> <p>より一層相談支援体制が活用されるためには、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、患者や家族の要望に沿った形で相談ができる様々な場を用意することが必要である。</p>	<p>がん相談については継続して実施されており、コロナ禍による面会制限やイベントの中止により人とのつながりの機会が減少している中で、精神面に関する相談が多い傾向にある。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため、がんサロンや患者会を中止した団体が多かったが、人数制限やオンラインを活用するなど、感染対策を実施したうえで再開した団体も見られた。</p> <p>コロナ禍によるがん患者や家族の不安に対してサポートができるよう、より一層多職種での連携と相談ができる場を提供することが必要である。</p>	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(1)基本方針		がん医療の充実と療養生活の質の向上		
(2)目標		がん患者の状況に応じた支援体制の充実		
(3)分野別施策		情報提供の充実		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度(予定)
取組事例 ●新規事業 ○継続事業	市民			
	事業者	<ul style="list-style-type: none"> ○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国労働衛生週間及び同準備期間における周知 ○労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知 ○定期健康診断
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ●癌に関する専門薬剤師の育成 ●がん治療の最前線 ○がん相談 ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会 ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備 ○がんゲノム医療 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成 ○臨床腫瘍学講義の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○就労支援 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会出席 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施 ○地域寄り添うためのコミュニケーションに特化した研修会の開催 ○コールセンターの設置・運営 ○教育ステーション事業 ○がん関連の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備 ●緩和ケアに関する連携体制の構築 ●さいたま市版お薬手帳の作成 ●がん患者会の開催 ○がん相談 ○がんサロン・アピアランスケア ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援) ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備 ○がんゲノム医療 ○緩和ケア研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成(資格取得に係る費用の助成) ○臨床腫瘍学講義の実施(自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている) ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○就労支援 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催 ○がん診療連携セミナーへの参加 ○口腔がん検診 学術講演会 ○口腔がん健診検討委員会 ○口腔がんに関する講話・健診・歯科相談 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○がん治療の最前線 ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○訪問看護ステーション経営サポート(医療事務研修) ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○がん関連の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ●口腔がん検診 ●入院時連携体制の構築(服薬) ●地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進 ●市民向け講演会の実施 ●ステーション協会での研修アナウンス ○がんサロン・アピアランスケア・ピアサポート ○社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会(就労支援) ○がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書の整備 ○「地域ケア意見交換会」の開催(困りごとや課題等の意見交換) ○緩和ケア研修会の開催 ○化学療法研修会の開催 ○私学事業団健康相談ダイヤル ○がん化学療法看護認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師等の育成(資格取得に係る費用の助成) ○臨床腫瘍学講義の実施(自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている) ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○がんサロンの開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○緩和ケア研修会の開催(再掲) ○院内がん登録の公表 ○がん相談支援センターの開設 ○セカンドオピニオン外来の開設 ○緩和ケアチームを組織 ○就労支援 ○がん患者のアピアランスケア支援 ○経口抗がん剤使用患者への説明用紙の整備 ○さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催 ○さいたま赤十字病院がん診療連携セミナーへの参加 ○口腔がんに関する講話・健診・歯科相談 ○癌治療における薬薬連携体制の構築 ○癌に関する専門薬剤師の育成 ○さいたま市版お薬手帳の作成 ○各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施(薬物乱用防止、健康フェア) ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○訪問看護ステーション経営サポート ○訪問看護相談・コールセンターの運営 ○がん患者会の開催 ○がん相談 ○乳がん認定看護師による看護相談 ○がん関連の情報提供 ○がん患者サロン(いこいの場)
市	<ul style="list-style-type: none"> ○がん対策推進講演会 ○市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスター等の設置 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨 ○区役所ロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発 ○保健センターロビーにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん対策推進ミニ講演会 ●民間企業と連携しがん検診に関する周知 ●SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信 ●がん対策推進講演会 ○市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 ○浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●大宮図書館での普及啓発 ○がん対策推進講演会 ○市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載 ○「医療なび」の周知 ○がん検診ポスターやのぼり旗の設置 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○健康教室での教育・啓発活動 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのちらし配布・パネル設置などの普及啓発 ○SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信 ○健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発 	

さいたま市がん対策推進計画進行管理シート

(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市ウェブサイト内の「がんに関する情報」のアクセス数	2,834 (H27)	増える	2,066(R3)	2,350(R4)	
地域(全国)がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況	—	実施する	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2017」について、市ホームページで情報提供を実施。 (達成) ↗	地域がん登録の情報について埼玉県がまとめた「埼玉県のがん2018」について、市ホームページで情報提供を実施。 (達成) ↗	
主な成果・課題			<p>市民、医療従事者、事業者等、対象者が異なる様々な説明会において、いずれも集合形式を見合わせ、オンラインを利用することでコロナ禍においても取組を実施し、継続して情報提供を行うことができた。</p> <p>集合形式に比べ、オンラインによる説明会では参加者が減るケースも見られたため、一律にオンラインに移行するのではなく、集合とオンラインを組み合わせるハイブリッド方式なども検討することで情報を受け取りやすい環境を構築することが必要である。</p> <p>集合によるイベントの実施が再開されたことにより、市民に直接啓発物を配布し情報提供を行うことができた。</p> <p>館内放送や動画配信、SNS等を活用した啓発に積極的に取り組むことにより、若い世代へのアプローチに繋がった。</p> <p>集合とオンラインを併用したイベントの実施により、幅広い世代が参加しやすくなったため、アフターコロナにおいても集合とオンラインを組み合わせるなど、ライフステージに応じた開催方法を検討する必要がある。</p>		

(1)基本方針	がん医療の充実と療養生活の質の向上
(2)目標	働く世代へのがん対策の充実
(3)分野別施策	市内事業所等との連携によるがん対策の充実

	令和3年度	令和4年度	令和5年度(予定)
取組事例	市民		
	事業者		●がん治療による休職者への支援
	保健医療関係者	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域ケア意見交換会」の開催 ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○就労支援 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○訪問看護ステーション体験実習 ○教育ステーション事業 	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域ケア意見交換会」の開催(困りごとや課題等の意見交換) ○人間ドックの利用費用補助 ○郵送検診の実施 ○看護師特定行為研修の実施 ○公開講座の開催 ○おしごと継続・就労相談会の開催 ○就労支援 ○口腔がん検診 学術講演会 ○口腔がん健診検討委員会 ○かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充 ○訪問看護師育成プログラム普及事業 ○教育ステーション事業 ○さいたま市北部緩和ケア研究会
市	<ul style="list-style-type: none"> ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮高島屋、大宮区役所での館内放送によるがん検診受診勧奨 	<ul style="list-style-type: none"> ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ●大宮図書館での普及啓発 ○大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨 ○大宮区主催のイベントでの啓発活動 ○大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発

(4)評価指標	ベースライン	目標値	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業所・従業員への相談支援窓口の案内の機会	—	増える	・市内の地域がん診療連携拠点病院で就労相談を実施。 ・市HPに埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報をまとめた「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を掲載。 (達成) ↗	・市内の地域がん診療連携拠点病院で就労相談を実施。 ・市HPに埼玉県が実施している「がんワンストップ相談」、埼玉産業保健総合支援センターの情報をまとめた「がん患者さんの就労相談窓口一覧」を掲載。 (達成) ↗	
主な成果・課題			<p>さいたま地域連携Networkの活動が推進され、がん治療に関する連携がよりスムーズに運営できるようになった。就労相談はコロナ禍の影響により、一部中止もあったが、各団体とも継続して取組を進めており、市内事業所等との連携体制は継続できている。</p> <p>今後はがん対策の充実に効果的に繋がられるよう、連携先事業所を増やすなど、市内全体に取組を広げていくことが重要である。</p> <p>就労相談については、コロナ禍においても市内事業所と連携し継続して実施できている。</p> <p>地域ケア意見交換会の開催により、各団体と継続的に関係を築くとともに、薬局との連携により相談の幅が広がった。地域の診療医へも連携を働きかけることで、より市内全体で取組を推進していくことが重要である。</p>		

さいたま市がん対策推進計画
令和4年度 各団体取組シート

目 次

【市民・事業者】

○Çava! (サヴァ) ～さいたま BEC～	1
○さいたま労働基準監督署	2
○さいたま商工会議所女性会	3

【保健医療関係者】

○さいたま赤十字病院	4
○自治医科大学附属さいたま医療センター	7
○さいたま市立病院	11
○さいたま市4医師会連絡協議会	13
○さいたま市歯科医師会	14
○さいたま市薬剤師会	17
○埼玉県看護協会	18
○埼玉県訪問看護ステーション協会	19
○さいたま市民医療センター	20
○埼玉メディカルセンター	21
○彩の国東大宮メディカルセンター	22

【市】

○健康増進課	23
○地域医療課	24
○いきいき長寿推進課	25
○地域保健支援課	26
○西区役所保健センター	27
○北区役所保健センター	28
○大宮区役所保健センター	29
○見沼区役所保健センター	30
○中央区役所保健センター	31
○桜区役所保健センター	32
○浦和区役所保健センター	33
○南区役所保健センター	34
○緑区役所保健センター	35
○岩槻区役所保健センター	36
○指導1課	37
○健康教育課	38

各団体取組シート

団体名 : Cava!～さいたまBEC～				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②乳がん体験者が安心して集まれる場所を提供。		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
①乳がんと告知された時から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会等を通して伝えていく事。 ②体験者同士が思いを共有し、孤独感から開放され一歩を踏み出すきっかけを作り、安心して集える場所を提供する事。			4 がん検診の質の向上		
事業の対象者		5 在宅医療の推進			
乳がんと診断された女性（ヨガ、運動教室は他のがん罹患女性も対象）		6 緩和ケアの充実			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
月1度 体験者対象おしゃべり会	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんと診断された女性 時期/回数：月1回（第3木曜：8月を除く）
不定期 再発転移経験者のおしゃべり会	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんの再発転移経験者 時期/回数：4ヶ月に1度（年3回）
体験者対象 イベント各種	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんと診断された女性・家族 時期/回数：未定
乳がん体験者のためのヨガ（NYOGA）	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：がんと診断された女性 時期/回数：対面→月3～5回/OL→月11回
乳がん体験者のための運動教室（エアロ、筋トレ）	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：がんと診断された女性 時期/回数：対面、OLとも月1回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
おしゃべり会（体験者対象、再発転移経験者対象共に）は対面で開催し、直接顔を合わせることで「ひとりじゃない」という実感を持たれる方が多いように感じます。イベントは10月に「御岳渓谷ウォーキング」を開催。近年、「がんと運動」に注目が集まっていることもあり、定員を超える申し込みがありました。ヨガや筋トレなども合わせ、体を動かすことの必要性と人気が高まっているのを感じます。				おしゃべり会、対面のヨガでは他人との距離が取れるように配慮しています。直に会えるメリットが大きいいため、今後もおしゃべり会は対面のみで開催予定。ヨガや運動教室は昨年に引き続きオンラインも併用しながら開催予定です。	

各団体取組シート

団体名:さいたま労働基準監督署				令和 4 年度分									
事業名				分野別施策 (参考)									
①事業場における治療と職業生活の両立支援対策 ②職場における受動喫煙防止対策													
事業の目標													
①治療と仕事の両立支援の取組を更に普及させるため「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」、「企業・医療機関連携マニュアル」及び「事業場における環境整備マニュアル(仮称)」の周知。 ②事業主等が積極的に受動喫煙防止対策に取り組むよう、「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の周知啓発、同対策助成金、相談支援の利用促進。				1 がんに関する正しい知識の普及	2 受動喫煙の防止と禁煙								
事業の対象者				3 がん検診の受診率の向上	4 がん検診の質の向上								
管内(さいたま市(岩槻区を除く)、鴻巣市(旧川里地区を除く)、北本市、桶川市、上尾市、伊奈町、志木市、新座市、朝霞市、和光市)の事業場				5 在宅医療の推進	6 緩和ケアの充実								
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実								
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実									
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続	一部	一部 (30%)	1	②	3	4	5	6	7	⑧	9	対象者:事業主、産業保健担当者等 時期/回数:労働衛生週間(10月1日~7日)、同準備期間(9月)における周知(同週間に係る説明会等を含む)説明会 Web開催1回
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続	一部	一部 (30%)	1	②	3	4	5	6	7	⑧	9	対象者:事業主、人事労務・産業保健担当者等 時期/回数:年間実施数 Web開催1回
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
前年に引き続きコロナ禍の影響を受け、集会形式の説明会会場をキャンセルし、Web形式での開催に絞った。説明会開催時期にはコロナ感染者数が収まってきていたものの、急遽の会場確保及び参加呼びかけが困難であったため、結果として1回のWeb開催の実施にとどまり、事業者に対する情報提供、周知の機会が減少したが、説明資料については、関係機関のホームページに掲載していただくなどにより、コロナ禍においても情報提供の充実に努めた。				コロナ禍など感染防止が必要な状況下では、説明会の開催等にあたりWeb形式での対応が求められており、実際に過去2年間のWeb開催を通じて、受け手側にもWeb形式での対応に習熟がみられているが、引き続き集会形式での開催を望む声も多いため、ハイブリット(集会+Web)での開催を今後も検討していく。また、関係機関のホームページへの関係資料の掲載協力も引き続き依頼していく。									

各団体取組シート

団体名:さいたま商工会議所女性会				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
がん検診の受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上											
①会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。 ②医療用ウィッグの毛髪提供の呼びかけをする。		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
事業の対象者		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
女性会会員とその家族													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期/回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
総会等会議にがん検診の受診勧奨等の周知	継続	なし		①	2	③	4	5	6	7	8	9	対象者:会員 時期/回数:会議開催時 対象人数:80人
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
医療用ウィッグ制作に協力するために、髪をドネーションした会員がいました。身近なところで役に立てました。				コロナ禍の影響でがん検診が減りましたが、感染状況に関わらず推奨してまいります。									

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院		1/3		令和 4 年度分									
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及									
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院				2 受動喫煙の防止と禁煙									
事業の目標				分野別施策 (参考)									
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。				3 がん検診の受診率の向上									
②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。				4 がん検診の質の向上									
③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。				5 在宅医療の推進									
事業の対象者				6 緩和ケアの充実									
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員				7 相談支援体制の活用									
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				8 情報提供の充実									
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実									
取組の内容	新規継続	オンライン	中止	分野別施策									対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)									
がん診療連携セミナーの開催	継続	一部		①	2	3	4	5	6	7	8	9	対象者：院内外の医療従事者 時期/回数：年2回 秋・冬開催予定 対象人数：約100人/回 *感染状況により、オンラインか集合開催を検討 10月20日テーマ「免疫関連有害事象(irAE)」 参加人数：院内61名、院外12名 開催方法：ハイブリット方式 3月9日テーマ「肝臓がんについて」 参加人数：院内51名、院外17名 開催方法：ハイブリット方式
病院内および敷地内の全面禁煙	継続	なし		1	②	3	4	5	6	7	8	9	対象者：患者、家族、来院者、職員
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	対象者：院内の医療従事者、院外の受け入れは状況により判断 時期/回数：6月11日(予備：9月)⇒6月11日開催 対象人数：30名募集⇒24名参加(医師4名、研修医15名、看護師1名、薬剤師2名、栄養士1名、公認心理師1名)
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	全部		1	2	3	4	5	⑥	7	8	9	対象者：前橋赤十字病院、足利赤十字病院 緩和ケアチーム 時期/回数：年3回 6月20日14:00~16:00 当院(医師3名、看護師1名、薬剤師1名、公認心理師1名) 前橋(医師1名、看護師6名、薬剤師1名) 足利(医師1名、看護師2名、薬剤師1名) 9月26日14:00~16:00 当院(医師3名、看護師1名、薬剤師1名、公認心理師1名) 前橋(医師1名、看護師複数名、薬剤師1名、栄養士1名) 足利(医師1名、看護師複数名、栄養士2名、PT1名) 2月6日14:00~16:00 当院(医師3名、研修医3名、看護師1名、薬剤師1名) 前橋(医師1名、看護師6名、薬剤師2名) 足利(医師1名、看護師1名)
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
次シートに記載				次シートに記載									

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院		2/3		令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん相談	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 時期/回数：月～金曜日（祝日除く） 9：00～16：30 対象人数：約900件/年
がんサロン・アピアランスケア	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外がん患者・家族 時期/回数：がんサロン⇒毎月第3金曜日 14：00～15：00 アピアランスケア(院内美容院協働)⇒第1木曜日 14：00～16：00 状況により開催検討 ⇒11月より事前予約制として再開。毎月2～3名ほど参加。
社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会（就労支援）	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内がん患者・家族 時期/回数：毎月第2水曜日 50分×3枠① 13：30～14：20 ②14：30～15：20 ③15：30～16：20 対象人数：36名（3枠×12ヶ月）⇒11名/年
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：がん患者・家族、一般の方 時期/回数：平日8：30～17：00
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
次シートに記載				次シートに記載	

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院		3/3		令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。		3 がん検診の受診率の向上			
②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。		4 がん検診の質の向上			
③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員		7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体		8 情報提供の充実			
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規継続	オンライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
「地域ケア意見交換会」の開催(困りごとや課題等の意見交換)	継続	一部		1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者:さいたま市内の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、基準薬局等の医療従事者の方 時期/回数:月1回(8月は休会)第3木曜日 *感染状況により、オンラインか集合開催を検討 ZOOM開催:下記参加人数内訳(院内+院外) 4月18日23名(11名+12名) 5月16日23名(11名+12名) 6月20日30名(13名+17名) 7月25日25名(11名+14名) 9月26日24名(10名+14名) 10月17日27名(13名+14名) 11月21日27名(12名+15名) 12月19日28名(9名+19名) 1月16日26名(9名+17名) 2月20日38名(14名+24名) 3月20日予定
がんゲノム医療	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者:院内外のがん患者 当院42名(乳腺外科10名、呼吸器内科9名、産婦人科7名、消化器外科4名、消化管内科4名、泌尿器科5名、肝胆膵内科3名)他院21名(乳腺2名、消化器8名、泌尿器6名、呼吸器2名、肝胆膵3名)
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
緩和ケア研修会の医師受講率は、2020年度92.3%、2021年度85.8%、2022年度89.4%であった。受講率90%以上が維持できるよう、今後も未受講の医師へ働きかけると共に、コメディカルの受講者も増やし、がん診療の質向上・維持を目指していく。がん診療連携セミナーはハイブリット方式にて開催することができた。またZOOMの導入により、院外参加者が増加した。地域ケア意見交換会では、訪問看護ステーションや地域包括支援センターとの良好な関係が築け、より円滑な連携が図れている。また調剤薬局の参加も増え、薬剤師との連携や困りごとの際の相談の幅も広がった。現在、診療医の参加がないため、地域の診療医へも参加を働きかけていく。緩和ケアチーム合同カンファレンスでは、緩和ケアチーム・緩和ケア病棟に関わる多職種で、一つの症例について振り返り、よりよいケアのあり方や患者・家族への関わり方について検討している。がん相談は複雑多様な相談、精神疾患を抱えている方の相談等が増加している。仕事と治療の両立支援では専門家と協働し、継続して支援を行っている。がんサロン(アピアランスケア含む)を再開し、パステルアートも導入したことでコミュニケーションの幅も広がり好評を得ている。がんゲノム医療では、個別化医療を提供する体制が整備されつつある。次年度も院内外の多職種と連携を図りながら、患者・家族が安心して治療を受け生活が送れるよう支援し、当院の役割を遂行していく。				がん診療連携セミナーはハイブリット方式にて開催することで、特に院外からの参加者が増加した。今後も感染状況や参加のしやすさも考慮しながら開催方法を検討していく。がんサロンは、コロナ禍以前は予約なしで行っていたが、事前予約制として人数を制限し、感染対策を施した上で実施した。今後も状況をみながら開催方法を検討していく。またピアサポーターの導入はまだ行っていないため、今後の検討課題である。	

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 1/4				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
・ 職員の健康管理、がんに関する知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
・ 職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
全職員、私学共済被扶養者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
一般定期健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：全職員 時期/回数：年2回の機会を提供
特定業務従事者に対する健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：特定業務従事者 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
特殊健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	法令に基づく特殊健康診断を実施 対象者：該当職員 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
人間ドックの利用費用補助	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	人間ドック利用料の助成 対象者：35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
郵送検診の実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施 対象者：30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者 時期/回数：年1回
化学療法研修会の開催	継続	なし	全 部 ⑩	① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	化学療法に関する最新の知見を提供 対象者：医療従事者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 健康診断（受診率100%）や人間ドック、郵送検診、敷地内全面禁煙、禁煙外来などの取り組みを通じてがん罹患するリスクの軽減に努めた。 認定看護師の育成など取り組みを通じて医療者の知識、技術の習得に努めた。 がんと仕事の両立を目指すために、就労相談会などがん相談支援センターの活動を行った。 				<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケア研修会は、院内および院外からの参加者で開催となった。また、化学療法研修会については、コロナの影響により中止となった。 がんサロンや市民公開講座はオンラインでの開催となった。 	

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 2/4				令和 4 年度分	
事業名 ・受動喫煙防止、禁煙推進 ・最新知識、技術の習得支援				分野別施策 (参考) 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の目標 ・喫煙によるがん罹患の防止に努める ・最新知識、技術の習得支援に努める					
事業の対象者 全職員、私学共済被扶養者、看護師					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体 日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など） 対象者：私学共済加入者
職場巡視における喫煙状況調査の実施	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙の状況について調査を実施 対象者：全職員 時期/回数：定期
敷地内全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている
がん化学療法看護認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師等の育成 (資格取得に係る費用の助成)	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	資格取得にかかる費用の助成 対象者：希望職員
臨床腫瘍学講義の実施 (自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている)	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開催している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 3/4				令和 4 年度分	
事業名 ・患者、市民向け知識普及				分野別 施策 (参考)	
事業の目標 ・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める					
事業の対象者 外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体 さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
公開講座の開催	継続	全部		① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている 対象者：市民（1回/100人程度） 時期/回数：年1回開催
がんサロンの開催	継続	全部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを開催 対象者：がん患者や家族 時期/回数：年6-1回
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催 時期/回数：毎月2回、原則第1火曜日と第3金曜日、事前予約制
緩和ケア研修会の開催（再掲）	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者（地域の医療従事者も参加可能） 時期/回数：年1回
院内がん登録の公表	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表
がん相談支援センターの開設	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応 対象者：患者・家族等
セカンドオピニオン外来の開設	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 4/4				令和 4 年度分		
事業名 ・患者、市民向け知識普及 ・緩和ケア実践				分野別 施策 (参考)		
事業の目標 ・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める ・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める						
事業の対象者 外来患者、入院患者、患者家族、一般市民						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
緩和ケアチームを組織	継続	なし		①	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		1/2	令和 4 年度分			
事業名	1 がんに関する正しい知識の普及					
がん患者・家族の支援	2 受動喫煙の防止と禁煙					
事業の目標 がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う	分野別施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上				
		4 がん検診の質の向上				
		5 在宅医療の推進				
		6 緩和ケアの充実				
		7 相談支援体制の活用				
		8 情報提供の充実				
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
		事業の対象者				
		がん患者及びその家族				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など	
				(該当する数字に○)		
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	対象者：がん患者及びその家族(受診の有無は問わない) 時期/回数：毎月第4水曜日13:00~15:00	
告知後の患者支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：市立病院でがん告知を受けた患者・家族	
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：市立病院の入院中のがん患者・家族 時期/回数：1回/Wの回診、カンファレンス	
がん相談支援センターの活用	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	面談又は電話相談 対象者：がん患者及びその家族(受診の有無は問わない) 時期/回数：平日8:30~17:00	
就労支援	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施 対象者：市立病院かかりつけのがん患者 時期/回数：月1回	
退院調整看護師の活用	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅への調整、退院後、自宅への訪問を行っている 対象者：がん患者・家族	
さいたま浦和地区緩和医療研究会を介しての地域連携	継続	なし	全部 (その他)	1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	講演会や連携のためのディスカッションを行い、情報交換と顔の見える関係づくりをしている 対象者：さいたま浦和地区の医療従事者 時期/回数：年2回	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
がんサロンは、コロナの影響で開催を中止している。告知後の支援については、がん関連の認定看護師が支援しており、年間100件以上の介入をしている。緩和ケアチームの活動は週1回のカンファレンスとラウンドを行っている。また、退院後の患者サポートとして外来への継続も行っており、令和4年度は延べ60件以上の介入を行った。今後も入院と外来を継続できるように取り組みを続けたい。がん相談に関しては、年間延べ120件以上の対応をしている。				がんサロンに関しては、コロナの終末に伴い、再開を検討する。就労支援を利用する患者は少なかったが、今後、乳腺外科の患者が増加することが予測されるため活用できるよう継続していく。がん相談支援センターの存在をより多くの患者・家族へ知ってもらうための体制を整備していく。		

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		2/2	令和 4 年度分			
事業名	1 がんに関する正しい知識の普及					
がん患者・家族の支援	2 受動喫煙の防止と禁煙					
事業の目標 がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う	分野別施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上				
		4 がん検診の質の向上				
		5 在宅医療の推進				
		6 緩和ケアの充実				
		7 相談支援体制の活用				
		8 情報提供の充実				
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
		事業の対象者				
		がん患者及びその家族				
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など	
				(該当する数字に○)		
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演をオンラインで実施する	
がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	作成したパンフレットを使用し、セルフケアを指導する 対象者：入院のがん患者にスクリーニングを実施し、3以上の患者	
経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	皮膚障害を予防するために外来からセルフケア指導、評価を行う 対象者：経口抗がん剤を使用する患者	
がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	歯科と連携し口腔内の環境を整える 対象者：がん治療（手術、化学療法、放射線療法）前の患者	
がん患者のアピアランスケア支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9	外見ケア支援として情報提供やケア方法の検討・アドバイスを行う 対象者：がん患者	
経口抗がん剤使用患者に対する説明用紙の整備	新規	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：経口抗がん剤を使用する患者 時期：内服開始前に文書による説明を行う	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
アピアランスケアに関しては入院・外来とも脱毛やウィッグの相談が多い。また、アピアランスの研修を受けた看護師が研修内容をもとに勉強会を開催した。がん患者への苦痛のスクリーニングは、看護部の緩和ケア推進委員会のメンバーを中心として行っている。病棟での対応困難事例に関しては、緩和ケアチームが介入して対応している。				緩和ケア研修会における患者体験者の講義について今後は対面で実践したいと考える。研究会や会議については一部オンライン組み込み対応していきたい。今後、乳腺外科患者の増加により、更に相談が増えることが予測されるためタイムリーに介入できるようにしていきたい。アピアランスの研修内容は部署内だけでなく、院内のスタッフへも還元していくことを検討している。		

各団体取組シート

団体名:さいたま市4医師会連絡協議会				令和 4 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診の受診勧奨や啓発 ②在宅医療・緩和ケアの推進				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				分野別施策(参考)		
①がん検診の受診率の向上 ②研修会の開催や参加等により、在宅医療・緩和ケアの理解を深める。				3 がん検診の受診率の向上		
				4 がん検診の質の向上		
				5 在宅医療の推進		
				6 緩和ケアの充実		
				7 相談支援体制の活用		
				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者						
医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	なし		1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9		胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん(触診)、乳がん(X線)、子宮がん(頸)、子宮がん(体) 時期/回数: R4.4.27~R5.3.11
大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ 8 9		
在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9		医師会会員・訪問看護ステーション、ケアマネージャー、地域包括支援センター等 時期/回数: 年2回
さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催	継続	全部		1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ ⑧ 9		医師会会員・訪問看護ステーション、ケアマネージャー、地域包括支援センター等 時期/回数: 月1回
がん診療連携セミナーへの参加	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9		病院職員・医師会会員及び医療従事者 時期/回数: 年2回程度
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
コロナ禍のため、受診率が以前に比べれば上昇はしているが、やはり、受診率が低さが目立つ。				さいたま市、各医師会と連携をとり、がん検診受診率向上に努めていきたい。		

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会(浦和歯科医師会)				令和 4 年度分	
事業名				分野別施策(参考) 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
①会員向け口腔がん対策講習会 ②口腔がん検診検討委員会の開催					
事業の目標					
①昨今は、行政が主体となり市民対象のがん検診に口腔がん検診を導入している事例も多くみられる。将来的に当会としても口腔がん検診事業導入を視野に関係機関に協力を要請し快諾を得ている。					
事業の対象者					
浦和歯科医師会会員					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
①埼玉県立がんセンター 口腔外科 ②さいたま市立病院 歯科口腔外科					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
口腔がん検診 学術講演会	継続	全部		① 2 3 ④ 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	対象者：浦和歯科医師会会員 WEB配信
口腔がん健診検討委員会	継続	全部		① 2 ③ ④ 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	浦和歯科医師会会員 ZOOM会議
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
口腔がん検診 神奈川方式を確立し詳細な統計などによりその成果をあげ、藤沢市との共同事業として立ち上げた藤沢市立病院 口腔外科 石川好美先生によるご講演を頂き講演後浦和歯科医師会口腔がん検診検討委員会アドバイザーに就任して頂いた。後方支援病院として埼玉県立がんセンター口腔外科、および、さいたま市立病院 歯科口腔外科との協力関係を構築した。				コロナ禍の受診控えにより、重篤に進行したケースが散見される。今後コロナウイルス感染症の行政上の扱いの変更がある5月以降には実際の健診事業開始を目標としている。	

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会(大宮歯科医師会)				令和 4 年度分		
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及		
①大宮歯科医師会公開市民講座				2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上		
①講話・健診・歯科相談を通じ地域市民のお口の健康についての意識向上を図る				4 がん検診の質の向上		
				5 在宅医療の推進		
				6 緩和ケアの充実		
				7 相談支援体制の活用		
				8 情報提供の充実		
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者						
さいたま市在住の40歳以上						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
日本大学松戸歯学部						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
口腔がんに関する講話・健診・歯科相談	継続	なし		①	2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：さいたま市在住の40歳以上 時期/回数：令和5年2月 1回 参加人数：21名
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
人生100年時代を迎える今、口腔内の健康を保つことが全身の健康を保つことにつながることを多くの市民の方に知って頂く為に 日本大学松戸歯学部有川教授にご講演頂いた。参加者からは非常に参考になったとの感想を頂いている。次年度も引き続き市民の方の健康意識向上につながる事業を進めて参りたい。				受付時の検温、手指消毒の徹底、座席間隔の確保といった感染症対策を実施。次年度もコロナ感染状況を鑑みながら同様の対策を実施予定。		

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会(与野歯科医師会)				令和 4 年度分		
事業名 市民向け講演会（オンライン）		1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業の目標 市民向けにがんに関する正しい知識の普及と啓発		分野別施策（参考）				
事業の対象者 さいたま市民および与野歯科医師会会員						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
取組の内容		新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 （該当する数字に○）	対象者、時期／回数、参加人数など
口腔がんに関する研修		新規	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	歯科医師会会員 11月、12月/3回開催 各3名程度
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
市民向けの研修会を予定していたが、本年は会員向けの研修会となった。 口腔がんに関する知識の再確認、新たな診断方法、最新の治療法などについて知ることができた。 さらに、一般市民への説明や予防法の啓蒙、日々の歯科治療における観察の重要性を再認識した。				大人数での研修会参加は、いまだ積極的に行えない状況の中、会員を対象にオンラインにて研修会を行った。 今後、広く一般市民への啓蒙活動を実施するにあたり、どのような形式で行うべきか、検討が必要である。		

各団体取組シート

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会				令和 4 年度分	
事業名			分野別施策 (参考)		
①「さいたま地域連携Network」を基盤とした地域連携の推進 ②在宅医療・緩和ケアの支援管理体制の整備 ③かかりつけ機能の推進					
事業の目標					
①入退院から緩和ケアまでの連携を推進し、地域を薬局がサポートできる体制を構築する。 ②在宅支援薬局リストを改訂、現状に即した内容で連携の充実をはかる。 ③薬剤師の職能を「相談」や「健康サポート」の分野で発揮できるよう、他団体での取り組みや他地域での活動に参加し、地域として標準化できるような体制を構築する。			1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
医師会、歯科医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他薬剤師会					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
癌治療における薬薬連携体制の構築	継続	一部		1 2 ③ 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員（病院） 時期/回数：12回/年（会議等） 対象人数：600名
在宅医療支援薬局リストの改訂	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：医師会、医療機関、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、行政窓口 時期/回数：1回 対象人数：不明
癌に関する専門薬剤師の育成	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員 時期/回数：6回/年（研修会） 対象人数：100名
かかりつけ薬局・健康サポート薬局の拡充	継続	一部		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：さいたま市薬剤師会会員、医師会、歯科医師会、行政窓口、市民 時期/回数：随時 対象人数：不明
緩和ケアに関する連携体制の構築	新規	一部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員、医師、歯科医師、病院、看護師 時期/回数：3回/年（研修会） 対象人数：不明
各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施（薬物乱用防止、健康フェア）	継続	一部		1 ② 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：地域イベントに準ずる他、2回/年（薬剤師会主催） 対象人数：不明
さいたま市版お薬手帳の作成	新規	なし		1 2 ③ ④ ⑤ 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：随時 対象人数：不明
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
癌治療における薬剤師の職能を拡大する上で薬薬連携が推進されたことは、タスクシフトという観点においても非常に効果的であった。また、薬物乱用防止キャンペーン等の様々な健康イベントを開催できるようになったことで、改めて現状での地域の視点を理解することができたが、特にフレイル、サルコペニアに対し多くの課題が見受けられたため、セルフケアという観点に対しても次年度は対応していきたい。一方、地域で癌を支えるためのハード構築として、癌に関わる専門性をもった薬剤師の育成に力を注いだ。学会（認定）の壁は高く具体的な成果はあげられていない。お薬手帳についてもさいたま市独自の地域性の高いものを開発することで、より地域に根付いた「健康手帳」とすることができ。次年度は組織として事業を継続するための組織作りを引き続き尽力する。				中止していたイベントや研修会関連の事業を開催できるノウハウを得ることができたことは大きい。今後は、開催の可否に焦点を置くのではなく、開催は当然としてその方法に対して議論するようなスタイルになるのだと感じている。また取組の感想でも述べたが、コロナ対策が高齢者に対し及ぼした健康への影響は、フレイルやサルコペニアという観点においても注視しなければいけないと感じている。継続的且つ様々な地域にアプローチできるような対策を講じたい。	

各団体取組シート

団体名：埼玉県看護協会				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
看護職に対するがん看護についての集合研修		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
がん看護について看護専門職として必要な看護実践能力向上を養う		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
		事業の対象者			
会員および非会員の県内看護職					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
特になし					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん薬物療法看護	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：8月9日 人数：対面66人
がん性疼痛看護	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：7月6日 人数：対面77人
がんサバイバー	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：1月18日 人数：62人
がん治療の最前線	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：9月6日（半日） 人数：55人
在宅における緩和ケア/在宅での看取り	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期/回数：7月30日 人数：対面49人
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
5つの研修で計300余名の参加があり、がん看護への関心の高さがうかがえた。研修講師においては、いずれも基礎的な知識を根拠に基づいてわかりやすく伝える工夫がされていた。参加者からは、「すぐに臨床実践に役立つ」「あいまいな知識が確実になり自信が持てた」等の感想があった。				対面型集合研修では感染対策を講じながら実施し、特に問題なく終了した。今後はさらに多くの看護職が受講できるよう広報活動に努める。	

各団体取組シート

団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①訪問看護師の確保・育成 ②経営安定化支援 ③医療・介護の連携 ④在宅療養の知識の普及				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別 施策 (参考)	
①訪問看護師の確保・育成をすることにより、在宅看取りが増やせる体制作りが行えるため、育成が必要である。				3 がん検診の受診率の向上	
②訪問看護STの経営をサポートし、安定化を図ることにより、在宅医療の推進となる。				4 がん検診の質の向上	
③多職種連携・市民向けの窓口を広げ、情報提供の充実を図る。				5 在宅医療の推進	
④教育ステーション地域の促成に合わせた教育・連携を図る。				6 緩和ケアの充実	
事業の対象者				7 相談支援体制の活用	
住民、患者、県内外医療従事者、地域包括ケアシステムに関わる職種、県内訪問看護ステーション				8 情報提供の充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
埼玉県医療人材課、埼玉県立大学、中学校、高校、訪問看護ステーション					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
訪問看護師育成プログラム普及事業	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ 6 7 ⑧ ⑨	対象者：新卒訪問看護師、新任訪問看護師 時期/回数：前期10日間 後期10日間 対象人数：10人程度 公開講座30人
訪問看護ステーション体験実習	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：中高校生、潜在看護師、病院看護師等 時期/回数：4月から2月まで 対象人数：230人
訪問看護ステーション経営サポート (医療事務研修)	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 ⑧ 9	対象者：訪問看護師、事務担当者 時期/回数：年5回 対象人数：各50人程度
コールセンターの運営	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	対象者：県民、介護事業者、訪問看護師、管理者 時期/回数：月曜から金曜日 10:00-16:00 対象人数：制限なし
教育ステーション事業	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 ⑨	対象者：関連職種、病院、新規事業者、訪問看護師、管理者 時期/回数：川口、越谷、熊谷地域 対象人数：ZOOMは全県対象、30~50人
訪問看護管理者研修	新規	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：初任訪問看護管理者 時期/回数：2回 訪問看護とは 労務管理 対象人数：それぞれ50人程度
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
今年度はコロナの影響はあったもののZOOMを活用し、研修参加者が多かった。また体験実習も多くの方の参加ができた。今後とも研修はハイブリットを含めた参加とすると、学びやすいと考える。				感染拡大が起こった際は、研修などはZOOM等で行う。	

各団体取組シート

団体名:さいたま市民医療センター				令和 4 年度分		
事業名				分野別施策 (参考)		
埼玉県がん診療指定病院としての役割推進						
事業の目標						
<ul style="list-style-type: none"> 禁煙の推進 緩和ケアへの活動推進 がん知識向上の支援 がん患者および家族への相談支援 				1	がんに関する正しい知識の普及	
				2	受動喫煙の防止と禁煙	
				3	がん検診の受診率の向上	
				4	がん検診の質の向上	
				5	在宅医療の推進	
				6	緩和ケアの充実	
				7	相談支援体制の活用	
				8	情報提供の充実	
				9	市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者						
一般市民、患者、患者家族、職員						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
さいたま市4医師会						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
禁煙外来の受診勧奨	継続	なし	全 部 (○)	1	② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙者 院内患者、職員
病院敷地内での禁煙措置	継続	なし		1	② 3 4 5 6 7 8 9	患者、患者家族、来院者、職員
専門医による緩和ケアに関するがん カウンセリング	継続	なし	全 部 (○)	1	2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内患者、患者家族 主治医からの依頼で実施
緩和ケアチームによる院内ラウンド	継続	なし		1	2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内入院患者 週1回実施
がん患者会の開催	継続	なし	全 部 (○)	1	2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	院内外患者 年複数回実施
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<p>当院は新型コロナウイルス感染症の重点医療機関となり、それに伴い病床の制限や職員の罹患など、通常医療への影響は大きくありました。しかし化学療法の継続や入院治療ためのスクリーニング体制の構築や感染対策を行うことで、どうにか維持をしたという印象の1年でした。</p>				<p>コロナ禍が今後終息してしまえば、中止としている院外との交流（患者会、がんカウンセリング）を再開したいと検討しています。</p>		

各団体取組シート

団体名：埼玉メディカルセンター				令和 4 年度分	
事業名				分野別施策 (参考)	
埼玉県がん診療指定病院					
事業の目標					
<ul style="list-style-type: none"> がん患者と家族への支援 がんに関する知識の普及 					
事業の対象者					
がん患者とその家族、職員					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中の患者・家族 時期/回数：1回/週のカンファレンス・回診
緩和ケア研修会	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内外の医療従事者*コロナの状況で対象者の変更あり 時期/回数：1回/日
緩和ケア外来	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院通院中のがん患者・家族 時期/回数：毎週木曜日
がん相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外のがん患者・家族 時期/回数：平日8：30～16：00
乳がん認定看護師による看護相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：当院で治療されている患者・家族 時期/回数：毎週月曜日 予約制
退院調整看護師、地域連携室との連携	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	対象者：入院中の患者・家族、緩和外来通院中の患者を対象に療養場所の調整
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
緩和ケアチーム活動、緩和ケア外来、乳がん認定看護師によるがん相談などの運営に関しては、予定通り実施。緩和ケアチーム、緩和外来ともに、少数ではあるが非がん患者の相談依頼がくるようになった。退院調整看護師や外来看護師、MSWと適宜連携をとり患者・家族が希望する療養場所へ退院できるように支援を行った。				今年度も、緩和ケア研修会は院内の医療従事者を対象に、人数を制限し10月に開催した。次年度は、コロナの状況にもよるが、他施設の方にも参加していただくようにしたいと考えている。	

各団体取組シート

団体名：彩の国東大宮メディカルセンター				令和 4 年度分		
事業名				分野別施策 (参考)		
埼玉県がん診療指定病院						
事業の目標						
がん患者様およびご家族の支援						
事業の対象者						
がん患者様およびご家族、職員、地域の医療従事者						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
地域の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん相談支援センター	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	対象者：がん患者様およびご家族など 時期/回数：平日10時～16時、随時 対象人数：不問	
がん関連の情報提供	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：がん患者様およびご家族、一般市民 時期/回数：随時 対象人数：不問	
がん患者サロン（いこいの場）	継続	なし	全部 (30名)	① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：基本は院内の患者様およびご家族 時期/回数：4回/年（3月・6月・9月・12月） 対象人数：希望者	
緩和ケアチーム活動	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中のがん患者様およびご家族 時期/回数：週1回 対象人数：依頼があったケースに対応	
緩和ケア研修会開催	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の医療従事者 時期/回数：3月/年1回 対象人数：18名募集	
さいたま市北部緩和ケア研究会	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	対象者：大宮・与野・岩槻医師会管轄の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション職員 時期/回数：3月・9月/年2回 対象人数：希望者	
人生会議相談窓口の設置 (Advance Care Planning)	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の患者様およびご家族 時期/回数：平日10時～16時 対象人数：不問	
院内・敷地内の全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：患者様および職員 時期/回数：随時 対象人数：全員	
がん検診	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：さいたま市民に対しがん検診対応 時期/回数：2022年4月～2023年3月 対象人数：希望者	
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> がん患者サロンについては、コロナ感染対策により令和2年3月から中止しており、開催できていない。 緩和ケア研修会については、昨年同様院内の感染対策に基づいて、院内医療従事者のみ少人数で開催はできたが、少人数のスタッフで感染対策をしての準備にかなり時間を要し大変であった。 さいたま市北部緩和ケア研究会については、2年ぶりに、9月は全面Web開催、3月はハイブリッドで開催できたことは収穫である。 				<ul style="list-style-type: none"> がん患者サロンについては、今後どのように開催を再開していくのかは検討段階である。 緩和ケア研修会については、院内医療従事者に限定し、前後2週間の体温測定、体調管理、会場での食事禁止、不織布マスクならびにロールプレイではフェイスシールドの装着、外部講師の短時間滞在等の対策をおこなっていた為、今後の感染対策緩和に伴い、変更していく必要がある。 さいたま市北部緩和ケア研修会については、全面Web、ハイブリッドで開催できたが、対面を望む声もあり、今後の感染対策緩和に伴い、変更していく必要がある。 		

各団体取組シート

団体名：健康増進課				令和 4 年度分	
事業名				分野別施策 (参考)	
①若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 ②がん教育出前講座 ③がん対策推進講演会 ④受動喫煙防止対策 ⑤がんに関する情報提供					
事業の目標					
①在宅医療の推進による末期がん患者の療養生活の質の向上 ②がんに関する正しい知識の普及によるがんの予防の推進 ③⑤情報提供の充実によるがん患者の状況に応じた支援体制の充実 ④受動喫煙の防止と禁煙によるがんの予防の推進					
事業の対象者					
市民、教育関係者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
さいたま市4医師会、さいたま市歯科医師会、さいたま市立病院、さいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター、埼玉県立がんセンター、あけぼの会あけぼの埼玉、がん暮らしを考える会、第一生命保険株式会社、オリンパス株式会社、コミュニティ推進課、健康教育課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	対象者：20～39歳の市在住末期がん患者（18歳以上の小児慢性対象外を含む） 利用人数：6名
がん教育出前講座	継続	一部		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：市立小中学校の児童生徒、教員、保護者 時期/回数：9～1月までに計6校で実施
がん対策推進講演会	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：3月18日に会場とオンライン視聴によるハイブリッド方式で実施 共催：第一生命保険株式会社
がん対策推進ミニ講演会	新規	全部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民、事業者 時期/回数：12月1日～動画配信によるミニ講演会を実施
受動喫煙防止啓発チラシを作成し、市内の自治会に回覧	新規	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市民 時期/回数：10月
市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：医療用ウィッグを必要とするがん患者 サポート店は随時募集し、更新中
民間企業と連携しがん検診に関する周知	新規	なし		① 2 ③ ④ 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 オリンパス株式会社が作成しがん検診に関するリーフレットを講演会で配布
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
講演会の会場では、民間企業と連携しがん検診に関する啓発物を配布することで、検診の重要性について周知することができた。令和4年度は会場とオンラインを組み合わせた講演会に加え、動画配信によるミニ講演会を実施することで、多くの世代にがんに関する正しい知識を普及することができた。 アプローチしたい対象者を明確にし、その対象者に合った効果的な啓発方法を今後検討していく必要がある。				講演会は、協定を締結している民間企業と共催し、会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド形式で開催した。開催方法について、会場とオンラインそれぞれ希望する声があったため、市民が参加しやすい開催方法を検討していきたい。	

各団体取組シート

団体名：地域医療課				令和 4 年度分									
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及											
医療機関情報の発信		2 受動喫煙の防止と禁煙											
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上											
医療機関検索サイト「医療なび」の実施		4 がん検診の質の向上											
		5 在宅医療の推進											
		6 緩和ケアの充実											
		7 相談支援体制の活用											
		8 情報提供の充実											
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実											
		事業の対象者											
市民													
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体													
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策					対象者、時期／回数、参加人数など				
				(該当する数字に○)									
「医療なび」の周知	継続	全部		1	2	3	4	5	6	7	⑧	9	対象者：市民 時期／回数：通年（365日）
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性									
令和3年度同様、発熱症状が出た際は埼玉県受診・相談センターへ案内しているため、さいたま市医療なびの検索数は低水準で推移している。				国が整備する医療情報提供制度の進捗状況や埼玉県が運用している「埼玉県医療機能情報提供システム」の動向を注視し、本市における医療情報提供のあり方について検討していく。									

各団体取組シート

団体名:いきいき長寿推進課				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
医療関係者、介護関係者、行政					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療・介護連携推進会議において、現状や課題について情報共有、対応策の検討などを行います。
医療・介護関係者の研修	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医療や介護に関する研修会を開催する。 対象者：医療・介護等の多職種
地域住民への普及啓発	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	講演会を開催します。また、在宅医療連携拠点の普及啓発に取り組みます。 対象者：地域住民
医療・介護関係者の情報共有の支援	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市全域での入退院支援ルールを策定したことから、ルールの運用と周知に取り組みます。
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築を検討し、策定した入退院支援ルールの運用と周知に取り組みます。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	ケアマネージャーの資格を有する看護師などがコーディネーターとして、在宅医療・介護連携に関する相談に対応します。 対象者：市民や関係者
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
在宅医療・介護連携推進事業の推進にあたっては、医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けていくことができるよう、医療・介護・福祉分野の関係者間のより一層の「顔の見える関係」の構築が重要と考えます。令和4年度は、前年度に策定した入退院支援ルールを市内医療機関や職能団体等に周知するための研修会を行い、病院関係者と在宅関係者が早い段階で患者情報を共有し、早期退院と退院後の円滑な療養生活に繋げていく取組を推進しました。				4医師会への委託により実施している医療と介護の関係者を対象とした研修会や講演会が、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた時期に開催が困難となったことや、参加者及び従事者における感染拡大防止の観点から、集合形式での開催を見送らざるを得なくなりました。一部の医師会において取組が継続できるようオンラインによる実施を取り入れていることから、今後も必要に応じて拡充を検討していきます。	

各団体取組シート

団体名：地域保健支援課				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上	
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。				4 がん検診の質の向上	
事業の対象者				5 在宅医療の推進	
市民				6 緩和ケアの充実	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				7 相談支援体制の活用	
各区保健センター、大宮図書館、医師会				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規継続	オンライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん検診対象初年度無料事業制度の実施	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：今年度初めて市のがん検診の対象になった市民 時期/回数：令和4年度の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：個別勧奨はがき 令和4年4月中旬発送、再勧奨はがき 令和4年9月下旬発送
さいたま市二十歳の集いでの子宮頸がん検診の啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：今年度20歳になった市民 時期/回数：令和5年二十歳の集いで実施
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	対象者：がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者 時期/回数：1次検診受診報告日より4か月後
大宮図書館でがん特集コーナーを作成、資料を配架	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期/回数：令和4年10月実施
SNSを活用したがん検診の啓発	継続	全部		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：令和4年5月、令和4年10月（2件）、令和4年11月（2件）の計5回実施
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度も、がん検診の対象者に対して4月中旬に個別の勧奨はがきを送付したほか、再勧奨はがきについて、9月下旬に送付しました。 受診率を向上させるため、TwitterなどSNSを活用した啓発にも積極的に取り組みました。 例年中央図書館で行っていた、がんに関する展示を大宮図書館で行いました。 				<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度も、新型コロナウイルスの流行前と比較して受診者数が減少傾向にあるため、引き続き、効果的な受診勧奨の取組が求められます。 	

各団体取組シート

団体名：西区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
がん検診受診勧奨 がんについての啓発				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別 施策 (参考)	
①がん検診を受診し、早期発見・治療につながる				3 がん検診の受診率の向上	
②がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアすることができる				4 がん検診の質の向上	
③自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる				5 在宅医療の推進	
事業の対象者				6 緩和ケアの充実	
市民全般、市内在住のがん検診受診対象者およびその家族				7 相談支援体制の活用	
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体				8 情報提供の充実	
JR東日本（指扇駅）				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん検診受診勧奨	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	なし	全 部 (30)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	指扇駅にて検診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定 時期/回数：11月24日
がん精健未受診フォロー（女性のが ん）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	受診状況の確認、および受診勧奨の連絡 対象者：精密検診未受診の方
健康相談（随時）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	来所・電話などがんについての相談を随時行 う
乳がんについての講話（依頼教育）	継続	なし	全 部 (その 他)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：乳幼児を持つ保護者 時期/回数：10月
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
がん検診啓発の内容を印刷したウェットティッシュを、各事業などで配布した。検診受診勧奨の内容の掲示や広報を予定通り行った。 がん検診受診勧奨については、10月に乳がん月間と合わせて、がん全般の知識の啓発および健診受診勧奨の掲示を保健センターの掲示スペースで行った。成人向け教室にて、がん検診受診勧奨を行った。がん精密健診未受診フォローについては、対象者への受診勧奨を行った。健康相談は随時対応している。				感染拡大防止の観点から、不特定多数の方への啓発活動（指扇駅での啓発グッズ配布）は中止。依頼教育での啓発については、依頼元が集いの中止を決定したため、実施できなかった。 令和5年5月に、コロナ感染症が5類の扱いになることで、どのような対応を求められるか確認し、できる限りコロナ禍以前の状況に戻していけるよう試みたい。	

各団体取組シート

団体名：北区役所保健センター				令和 4 年度分		
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及			
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知			2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標			分野別施策 (参考)			
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。			3 がん検診の受診率の向上			
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
			8 情報提供の充実			
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者						
北区民						
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体						
子育て支援センター等						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のチラシ配布	継続	一部		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9		コロナ拡大時期は教室がオンライン開催となったため、がん検診受診勧奨は実施できず。対面開催の際は、育児学級参加の保護者に対し、がん検診受診勧奨のチラシを配布した。
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		保健センター来所者へポスター掲示、チラシの配布実施。
健康教育においてミニ講義、乳がん自己触診体験、一酸化炭素濃度測定	継続	なし	全部 (計)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9		小学生の子を持つ保護者を対象に2022年8月10日に実施予定だったが、新型コロナ拡大により中止となった。
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続	なし	全部 (計)	① ② ③ 4 5 6 7 8 9		コロナ禍のため依頼なく、実施せず。
けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		北区役所来所の市民を対象に、9月1日、2日、5日の3日間開催し、計1140名参加。
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・通年でがんに関する啓発コーナーを設置し、がん検診の受診勧奨を行った。 ・新型コロナ感染症拡大のため教室はオンラインでの実施が多かったが、対面で実施できた際には、市民の方に直接がん検診受診のための啓発物を配布できた。 ・健康に関する展示会を開催し、プラザノースに来所した多くの市民を対象にがん検診等の重要性を普及啓発することができた。 				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き新型コロナの感染症対策をしつつ、直接市民の方に健康教育・啓蒙する機会を増やしていければと思う。 		

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
がんの予防と早期発見の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
・がん予防の推進 ・がんの早期発見・早期治療の推進			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
市民（大宮区民）					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
大宮区役所総務課、コミュニティ課、大宮図書館、子育て支援センターおおみや、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋、大宮アルディージャ					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者:乳がん・子宮がん検診にて要精密検査者 時期/回数: 随時
区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者: 市民 時期/回数: 市報さいたま大宮区版7月号、10月号に記事を掲載
がん検診ポスターやのぼり旗の設置	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者: 市民 時期/回数: 通年及び受診勧奨月間
大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者: 商業施設利用者、市民 時期/回数: 令和4年5月～令和5年3月
健康教室での教育・啓発活動	継続	一部		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者: 健康教室（一部オンライン講座）参加者 約120名
大宮区主催のイベントでの啓発活動	継続	なし	一部 (加)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者: イベント（少年少女サッカー教室）来場者
大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者: 市民 時期/回数: 通年及び受診勧奨月間
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
商業施設での館内放送について、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で年度途中からの実施であったが、今年度は健診開始時期から実施できた。他団体、他課と協力して行う普及啓発は、様々な人に対して、効率よく周知することができたので、継続していきたい。また、区役所内での啓発及びパンフレット・啓発品の配布について、大きさや重さによる配布数の違いなどを配布場所ごとに検証したので、より効果的に啓発できる場面で啓発できるようにしていきたい。				感染症対策を講じながら、あらゆる場面で普及啓発に取り組んでいく。	

各団体取組シート

団体名：見沼区保健センター				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②喫煙や受動喫煙に対する正しい知識の普及、禁煙支援				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別施策 (参考)	
①がん検診の重要性と正しい知識の普及及び啓発を行う事で、健診の受診率向上を図る、 ②SNS等を含めた禁煙啓発を行い、喫煙者の禁煙への意識を高め、禁煙行動や受動喫煙について考えるきっかけとする。				3 がん検診の受診率の向上	
				4 がん検診の質の向上	
				5 在宅医療の推進	
				6 緩和ケアの充実	
				7 相談支援体制の活用	
				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者					
見沼区民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
総務課、コミュニティ課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者（母子事業も含む） 時期/回数：通年/16回 対象人数：259人
展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：通年
禁煙週間の取り組み (特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発)	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：5月31日～6月6日
乳がん月間の取り組み (センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験)	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期/回数：乳がん月間（10月） 人数：16人
見沼区ふれあいフェアで乳がんモデルでの自己触診体験実施	継続	なし	全 部 (計)	① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：見沼区ふれあいフェア来場者 時期/回数：11月予定
SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信	新 規	全 部		① ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：SNS利用者、区役所来庁者 時期/回数：5月31日～6月6日、10月
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ふれあいフェアでの乳がんモデルの自己触診体験は中止となったが、センター事業でのがん検診受診勧奨をはじめとし、展示コーナーでの特設コーナーにてがんや禁煙に関するポスター掲示等で普及啓発を行った。また、乳がん月間では、センター事業利用者や窓口来所者に対して、乳がんモデルでの自己触診体験の機会を設けた。さらに、新たな取り組みとして、SNSでのがん検診や禁煙についての普及啓発や、保育園児の保護者に対する普及啓発やがん検診受診勧奨を行うことで、若い世代へのアプローチの機会を拡大することができた。</p>				<p>乳がんモデルの自己触診体験では、手指消毒や手袋着用、アルコール消毒等の感染予防対策を講じた。また、新型コロナウイルス感染状況に影響されない形での普及啓発として、SNSを活用した発信を行った。今後は、保育園児の保護者を対象にした若い世代への啓発やがん検診受診勧奨を引き続き行っていく。</p>	

各団体取組シート

団体名：中央区保健センター				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診受診勧奨 ②乳がん予防・早期発見についての普及啓発 ③禁煙に関する啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける ②乳がんに対する意識を高め、乳がん検診を受け早期発見・早期治療に結びつける ③喫煙習慣のある人や受動喫煙を減らす		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
保健センター事業参加者、保健センター来所者、区内施設利用者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
区役所、区内施設、児童センター、食生活改善推進員協議会中央支部					
取組の内容	新規 継続	オン лайн	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
1. がん検診受診勧奨 (1) 保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2) 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3) 区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布 (4) 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	時期／回数： (1) 令和4年5月30日、11月29日 (2) 通年実施 (3) 令和4年11月12日 (4) 令和4年11月号市報に掲載
2. 乳がん予防・早期発見についての普及啓発 (1) 児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話 (2) 区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布（ローズリボンキャンペーンとして実施） (3) 区役所ロビーにて、ローズリボンキャンペーンとして乳がんのセルフチェック体験を実施。 (4) 市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載 (5) 中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話 (6) 支援センターにて、乳がん予防・早期発見について講話 (7) むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話 (8) 区民まつりにて、乳がんのセルフチェック体験を実施。	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(1) 対象者：児童センター利用の母親(授乳期含む) 時期／回数：令和4年6月21、30日、10月11日 (2) 対象者：区役所来庁者、区内施設利用者 時期：令和4年10月14日～10月31日 (3) 対象者：区役所来庁者、区内施設利用者 時期：令和4年10月14日 (4) 令和4年10月号市報に掲載 (5) 対象者：中央区食生活改善推進員 時期：令和4年10月5、6日 (6) 対象者：支援センター利用の母親(授乳期含む) 時期：令和4年10月6、20日 (7) 対象者：むし歯予防教室に参加した母 時期：令和5年1月26日、2月17日、3月16日 (8) 令和4年11月12日
3. 禁煙に関する啓発 (1) 保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (2) 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3) 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載	継続	なし	一部 (その他)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	時期／回数： (1) 令和4年10月18日、11月29日 (2) 令和4年5月1日～5月31日
4. 広報 (1) 中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載 (2) 中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載 (3) 中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載	継続	全部		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	(1) 時期：令和4年5月 内容：禁煙 (2) 時期：令和4年10月、11月 内容：10月)がん検診受診勧奨、 11月)子宮頸がん予防啓発 (3) 時期：令和4年10月 内容：乳がん
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
今年度は乳がん啓発を拡大し、支援センターや食生活改善推進員育成講座にて乳がん講話をすることができた。 また、昨年度コロナ禍で実施できなかった乳がんのセルフチェック体験について、今年度は乳がん啓発のイベント「ローズリボンキャンペーン」や、区民まつり、むし歯予防教室にて実施し、体験する機会を増やすことができた。乳がんセルフチェック体験と乳がん講話のアンケートと合わせると、早期発見が大切であることについて「とてもそう思う」「そう思う」と100%の方が回答している。				今年度は、感染対策（消毒、換気、ソーシャルディスタンスの確保等）を講じながら、教室参加者にとどまらず、広く区民へ啓発活動を実施している。 今後は、特に若い世代に向けて、がんの正しい知識を普及啓発できるよう、母子保健事業とも協働した取り組みを実施していく予定。	

各団体取組シート

団体名：桜区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②がんについての普及啓発 ③禁煙に関する普及啓発				分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標					3 がん検診の受診率の向上
①健診受診・精検受診勧奨により、がんの早期発見・治療につなげる ②がんについて正しく理解し、がん予防を知る ③喫煙について正しく理解し、禁煙の必要性を知る					4 がん検診の質の向上
					5 在宅医療の推進
事業の対象者				6 緩和ケアの充実	7 相談支援体制の活用
市民（桜区民）				8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
コミュニティ課、総務課、桜図書館、プラザウエスト、公民館、児童センター、子育て支援センター 等					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来場者 時期/回数：5月・10月
区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施	新規	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来場者 時期/回数：10月20日、24日、28日・2月28日
区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区民 時期/回数：5月号・12月号
健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙、受動喫煙の啓発	継続	なし		① ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者 時期/回数：5月11日体組成測定会27人、24日MIA6人・10月7日体組成測定会23人、26日ヨガ7人、プレバママクラス5月28日23人、令和5年1月28日34人
がん検診精密検査未受診フォロー（乳がん・子宮がん精密検査未受診者）	継続	なし		1 2 3 ④ 5 6 7 8 9	対象者：がん検診精密検査未受診者 時期/回数：随時
保健センター窓口にて禁煙指導用肺モデル、タールサンプルの設置	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター来場者 時期/回数：随時
禁煙週間に保健センター窓口にて啓発用ポケットティッシュの配布	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター来場者 時期/回数：5月
区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：イベント来場者 時期/回数：10月15日区民まつり（乳がん触診体験/77名）、2月22日ロビーコンサート（がん検診受診啓発ポケットティッシュ配布90人）
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
感染状況に応じて、参加人数の調整を行いながら普及啓発を実施した。3年ぶりの開催となった区民ふれあいまつりでの乳がんモデルの触診体験は、多数の参加があり好評であった。コロナ禍での啓発として感染予防に配慮し、館内放送を活用した普及啓発を実施することができた。区役所内の館内放送を活用することで、普段保健センターへ来所しない市民から問い合わせが入り、受診勧奨についての情報を届けることができた。				がん検診の受診率は、各がん検診ともにさいたま市の目標には達していない状況であり、継続して受診率向上に向けた取り組みが必要である。今後も館内放送を始めとした、感染予防に配慮した普及啓発を検討していく。また、アフターコロナでは、市民が多く集まるイベント等に出向き、より多くの市民へ受診勧奨を実施していきたい。	

各団体取組シート

団体名：浦和区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳がん自己触診の普及啓発			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			分野別施策 (参考)		
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。 ③乳がん自己触診の実施方法の指導を実施し、検診の受診意欲を高め、乳がん検診の受診率向上および異常の早期発見、早期治療につなげる。			3 がん検診の受診率の向上		
			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
浦和区保健センター及び浦和区役所来庁者 教室参加者 浦和区健康まつり来場者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
浦和区役所各課、NPO法人Arts&Healthさいたま（市民活動団体）					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
各種教室・育児相談等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：両親学級参加者 年10回 公民館等育児相談参加者
健康づくり教室にて、がん検診に関する講話の機会を設け、若い世代からのがん予防・がん検診の重要性等の意識づけを図る	新規	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：18～49歳の区民 時期：6月14日（火） 対象人数：定員20名
健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	時期／回数：全開庁日
浦和区健康まつりにて、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発、乳がん自己触診の普及啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：来場者2985名 時期：11月6日（日）
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期／回数：随時
乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期：10月
Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期／回数：随時
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
浦和区役所・保健センターロビーに設置している「健康スポット」では、月間テーマに合わせて啓発品セットを毎月約300～400部配布しており、多くの市民が活用していると考えられる。また、3年ぶりの開催となった浦和区健康まつりでは、乳がん自己触診体験コーナーを設け（300名参加）、その他に、がん検診に関するリーフレットも配布し、がんに関する知識の普及啓発を行えた。コロナ禍であることから、Twitterや市報を用いて、若い世代に対する啓発も積極的に行った。				引き続き健康スポットを運営し、啓発品セットを配布、月間テーマに合わせた情報提供を行う。健康への無関心層に普及啓発を行うため、来年度は、健康づくり教室の一部を公民館や図書館に職員が出向く形にしていく。	

各団体取組シート

団体名：南区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診受診に関する啓発 ②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置 ③禁煙相談事業の実施				分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙
事業の目標					3 がん検診の受診率の向上
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。					4 がん検診の質の向上
②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。					5 在宅医療の推進
事業の対象者					6 緩和ケアの充実
区民を中心とした市民					7 相談支援体制の活用
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					8 情報提供の充実
なし					9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の成果、感想など					コロナ禍における対策及び今後の方向性
<p>取組の内容</p> <p>新規 継続</p> <p>オン ライン</p> <p>中止</p> <p>分野別施策 (該当する数字に○)</p> <p>対象者、時期/回数、参加人数など</p>					
保健センター主催の生活習慣病予防教室でのがん検診受診の啓発	継続	なし	一部 (計)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：①20～40歳代の女性 ②1歳児とその父 ③小学生とその保護者 ④小学生とその保護者 ⑤6か月以上で概ね8kg前後の児とその母親 ⑥20～40歳代の区民 ⑦20～40歳代の区民 ⑧40～74歳の市民 時期/回数：①6/10②6/26、12/11 ③8/4④8/7⑤9/9⑥9/21⑦10/6⑧ 10/13 対象人数：51人
地区依頼教育での乳がん検診（自己検診法を含む）の説明	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区内在住の乳幼児を持つ母 時期/回数：2・3回/年 対象人数：74人
庁舎内の啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：パネル展示・パンフレット等の配布 時期/回数：年間を通じて実施
禁煙相談の実施	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区内在住の禁煙希望者とその家族 時期/回数：保健センター開庁日（予約制）
体組成測定会でがん予防・検診受診に関するPR	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区民または市民 時期/回数：6/8、10/12、2/8 対象人数：50人
受動喫煙に関する啓発（ポケットティッシュの配布等）	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：妊娠届出申請者 時期/回数：妊娠届出申請時 対象人数：1289人（1月末現在）
サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和側）に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：武蔵浦和駅利用者等 時期/回数：5/30～6/3
Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発	新規	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：Twitterへの投稿 時期/回数：1回/年
<p>・各事業等で、がん検診受診に関する啓発を実施しました。</p> <p>・令和元年度から、南区役所がある複合公益施設サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和駅側）を活用した健康づくり事業関連のメッセージ掲示を行っています。令和4年度は禁煙を促すメッセージを掲示しました。</p> <p>・新しい生活様式を踏まえ、様々な場面でがん全般に関する知識の普及啓発、禁煙の必要性など情報発信に努めていきます。</p>				<p>・予定していた事業の日程変更や中止。</p> <p>・事業の参加人数の制限。</p> <p>・禁煙相談時に活用していたマイクロCOMモニターの使用中止。</p> <p>・乳がんモデル使用時に、使い捨て手袋の着用をするなどの感染予防対策を実施する。</p> <p>・事業時間短縮のため、両親学級時の禁煙に関するDVD上映の中止。</p> <p>・Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発を行った。</p>	

各団体取組シート

団体名：緑区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①健康教室等において、がん検診の受診勧奨や乳がん自己検診法等の普及を行う ②庁舎内やイベント、区報で受診勧奨・資料の展示、配布等を行う				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上	
①市民ががん検診を受けたり、自己検診を各自で実施したりすることで、早期発見・早期治療に結びつける ②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る				4 がん検診の質の向上	
				5 在宅医療の推進	
				6 緩和ケアの充実	
				7 相談支援体制の活用	
				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
				分野別施策（参考）	
事業の対象者					
さいたま市民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
取組の内容	新規継続	オンライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	一部		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター主催の教室に参加した市民 時期/回数：年間を通じて 対象人数：12～40名/回×10回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区役所に来庁された市民 時期/回数：年間を通じて実施
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など	継続	なし	全部（その他）	① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区在住の市民 時期/回数：市報10月号に掲載
乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施	継続	全部		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区内在住18～64歳の女性 対象人数：5名に実施
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
<p>乳がん月間である10月に教室を実施した。教室後のアンケートにて、すべての参加者から、乳がんを中心としたがん予防と乳がん自己検診法について理解できたとの回答が得られた。また、乳がん検診の受診勧奨のウェットティッシュを作成し、区内の幼稚園や公共施設へ配布することで、子育て世代へ向けた普及啓発を行った。</p> <p>緑区役所1階情報公開コーナー前、保健センター前に、がん検診や生活習慣病予防に関するポスターの掲示、リーフレットの配布をし、普及啓発を行った。</p>				<p>乳がん予防の教室はオンライン開催とした。参加者には、オンライン上で自己検診法を実践してもらった。</p> <p>今後は、感染状況に応じて、対面開催とし、乳がん触診モデルの体験などを取り入れ、がん予防普及啓発に取り組んでいく。また、感染症の流行に影響されず参加してもらえるよう、一部コース制のオンライン教室を計画する。</p>	

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター				令和 4 年度分	
事業名				1 がんに関する正しい知識の普及	
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発				2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上	
①区民が、がん検診を受け、早期発見・早期治療につながる。 ②区民が、がん予防についての知識を得る。				4 がん検診の質の向上	
				5 在宅医療の推進	
				6 緩和ケアの充実	
				7 相談支援体制の活用	
				8 情報提供の充実	
				9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業の対象者					
岩槻区民					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
子育て支援センターいわつき、児童センター、岩槻区役所観光経済室、岩槻区役所コミュニティ課					
取組の内容	新規継続	オンライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	回数：年4回（4月、5月、12月、1月）
区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：子育て支援センター・児童センター利用者（通年）
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者（通年）
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：生活習慣病予防教室等参加者（5回、計52名）、体組成測定会参加者（1回、30名）、母子保健事業参加者（18回、計124名 ※3月実施分は除く）
岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：岩槻駅利用者 時期：5月2日～6月1日
区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センターブース来所者 時期：10月16日 対象人数：資料配布152人、乳がん自己触診実施61人
区主催事業での啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：他課主催事業（6事業）参加者 配布数369部
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
若い年齢層に啓発が届くよう、啓発の場所やメッセージを工夫した。母子保健事業に普及啓発を組み込むなど、新型コロナウイルス流行下において実施可能な方法で普及啓発を行った。 また、駅を利用する通勤者をターゲットに、駅前掲示スペースに禁煙ポスターを掲示した。				新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、中止となった事業があった。実施した事業も、新型コロナウイルス感染症対策として人数や内容の制限を行った。 来年度はより効果的な啓発になるよう、実施方法や内容を工夫していきたい。	

各団体取組シート

団体名：教育委員会学校教育部指導1課				令和 4 年度分	
事業名 学習指導要領に基づく保健学習指導		1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の目標 ①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		分野別施策 （参考）			
事業の対象者 市立全小・中学校の児童生徒					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体 教育委員会学校教育部健康教育課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
保健学習の実施	継続	なし		① ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立全小・中学校の児童生徒
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
小学校の保健学習では、日本では多くの方が生活習慣病を発症し、がんの多くは生活行動との関係があること、たばこの煙には健康に害のある物質が多く含まれ、受動喫煙によってもがんや心臓病などになりやすくなることについて指導することができた。 中学校の保健分野では、がんという病気やリスク、適切な生活習慣の実践、健康診断やがん検診、がんの治療と回復など、中学校学習指導要領で新たに位置付けられた「がん教育」について指導することができた。				引き続き、学習指導要領に基づき、児童生徒にがんや喫煙に関する正しい知識を習得できるようにする。	

各団体取組シート

団体名：健康教育課				令和 4 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
学校におけるがん教育の推進		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
①がんについて正しく理解することができるようにする。 ②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
市立学校児童生徒・教職員・保護者					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
教育委員会指導 1 課、健康増進課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
各学校でのがん教育の取組の支援	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校 児童生徒、教職員、保護者
文部科学省主催研修会 参加	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校 教職員 等 ※実施方法未定
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性	
保健主事研修、養護教諭研修の際、がん教育出前講座について周知し、健康増進課から状況を伺うことができた。各学校では、教職員や保護者向けの研修や、児童生徒向け講座の実施等、実態に応じてがん教育に取り組んだ。				研修会がオンライン形式になったり、授業の中でオンラインが取り入れられたりしたことがあった。今後も、状況に応じて適切な方法を検討し、実施する。	

さいたま市がん対策推進計画
令和5年度 各団体取組シート

目 次

【市民・事業者】

○Cava! (サヴァ) ～さいたま BEC～	1
○さいたま労働基準監督署	2
○さいたま商工会議所女性会	3

【保健医療関係者】

○さいたま赤十字病院	4
○自治医科大学附属さいたま医療センター	6
○さいたま市立病院	10
○さいたま市4医師会連絡協議会	12
○さいたま市歯科医師会	13
○さいたま市薬剤師会	16
○埼玉県看護協会	17
○埼玉県訪問看護ステーション協会	18
○さいたま市民医療センター	19
○埼玉メディカルセンター	20
○彩の国東大宮メディカルセンター	21

【市】

○保健衛生総務課	22
○地域医療課	23
○いきいき長寿推進課	24
○地域保健支援課	25
○西区役所保健センター	26
○北区役所保健センター	27
○大宮区役所保健センター	28
○見沼区役所保健センター	29
○中央区役所保健センター	30
○桜区役所保健センター	31
○浦和区役所保健センター	32
○南区役所保健センター	33
○緑区役所保健センター	34
○岩槻区役所保健センター	35
○指導1課	36
○健康教育課	37

各団体取組シート

団体名 : Cava!～さいたまBEC～			令和 5 年度分		
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
①科学的根拠に基づいた知識の普及。 ②乳がん体験者が安心して集まれる場所を提供。			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			分野別施策 (参考)		
①乳がんと告知された時から、正しい情報がどこにあるのかをおしゃべり会等を通して伝えていく事。 ②体験者同士が思いを共有し、孤独感から開放され一歩を踏み出すきっかけを作り、安心して集える場所を提供する事。 ③がんを経験した方へ気軽にできる運動を提供し、運動習慣をつけていただく事。			3 がん検診の受診率の向上		
			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
乳がんと診断された女性（ヨガ、運動教室は他のがん罹患女性も対象）					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
月1度 体験者対象おしゃべり会	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がん体験者 時期／回数：月1回（第3木曜、8月を除く） 対象人数：不定（予約不要）
不定期（4ヶ月に1度程度） 再発転移経験者のおしゃべり会	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がんの再発転移経験者 時期／回数：4ヶ月に1回程度 対象人数：不定（予約不要）
体験者対象 イベント各種	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：乳がん体験者 時期／回数：未定、不定期 対象人数：不定
がんを体験した女性のためのヨガ (NYOGA)	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：がんを体験した女性 時期／回数：対面(月2程度)、OL(月11程度) 対象人数：対面12まで、OL50まで
がんを体験した女性のための運動教室 (筋トレ、ループ体操、ウォーキングなど)	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：がんを体験した女性 時期／回数：OL(月10程度)、対面(不定期) 対象人数：OL50まで、対面(不定)
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま労働基準監督署				令和 5 年度分	
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
①事業場における治療と職業生活の両立支援対策 ②職場における受動喫煙防止対策			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			分野別 施策 (参考)		
①治療と仕事の両立支援の取組を普及させるため、「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」及び「企業・医療機関連携マニュアル」の周知。 ②事業主等が積極的に受動喫煙防止対策に取り組むよう、「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」の周知啓発、同対策助成金、相談支援の利用促進。			3 がん検診の受診率の向上		
			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
管内（さいたま市（岩槻区を除く）、鴻巣市（旧川里地区を除く）、北本市、桶川市、上尾市、伊奈町、志木市、新座市、朝霞市、和光市）の事業場					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
浦和地区労働基準協会、大宮地区労働基準協会、埼玉産業保健総合支援センター					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
全国労働衛生週間及び同準備期間における周知	継続	一部		1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：事業主、産業保健担当者等 時期/回数：労働衛生週間（10月1日～7日）、同準備期間（9月）における周知（同週間に係る説明会等を含む）説明会 7回（うちWeb開催1回）
労働安全衛生関係の集団指導、説明会等における事業場への周知	継続	一部		1 ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：事業主、人事労務・産業保健担当者等 時期/回数：年間実施数 約10回（うちWeb開催1回）
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま商工会議所女性会				令和 5 年度分	
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
がん検診の受診勧奨			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上		
①会員ががん検診を受けることで、早期発見・早期治療に結びつける。 ②医療用ウィッグの毛髪提供の呼びかけをする。			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
事業の対象者			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
女性会会員とその家族。従業員。					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
定期健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者:各事業所社員
会報誌でがん検診受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者:会員 時期/回数:会報誌配布時 対象人数:135名
がん治療による休職者への支援	新規	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 ⑨	対象者:従業員
会議室禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者:全員 時期/回数:会議開催時 対象人数:40名
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者: 時期/回数: 対象人数:
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者: 時期/回数: 対象人数:
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者: 時期/回数: 対象人数:
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院 1/2		令和 5 年度分			
事業名	地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院	分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及		
			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			3 がん検診の受診率の向上		
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。	4 がん検診の質の向上				
	5 在宅医療の推進				
	6 緩和ケアの充実				
事業の対象者			7 相談支援体制の活用		
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員			8 情報提供の充実		
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん診療連携セミナーの開催	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：院内外の医療従事者 時期/回数：年2回 秋・冬開催予定 対象人数：約100人/回
病院内および敷地内の全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：患者、家族、来院者、職員 時期/回数：通年
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の医療従事者、院外の受け入れは状況により判断 時期/回数：春 6月中 1回予定 対象人数：30名募集
緩和ケアチーム合同カンファレンス	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院、前橋赤十字病院、足利赤十字病院の緩和ケアチーム及び該当者 時期/回数：3回/年 対象人数：都度参加
がん相談	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9	対象者：院内外がん患者・家族、一般の方、医療関係者 時期/回数：平日9：00～16：30
がんサロン・アピアランスケア・ピアサポート	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外がん患者・家族 時期/回数：がんサロン…毎月第3金曜日 14：00～16：00予定 対象人数：予約時は5名/回までとする
社会保険労務士およびファイナンシャルプランナーによる仕事と家計の相談会（就労支援）	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内がん患者・家族 時期/回数：毎月第2水曜日 50分×3枠① 13：30～14：20 ②14：30～15：20 ③15：30～16：20
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま赤十字病院 2/2			令和 5 年度分		
事業名			分野別施策 (参考)		
地域がん診療連携拠点病院 がんゲノム医療連携病院					
事業の目標					
①地域がん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携病院としての役割を遂行し、がん診療の質向上に寄与する。 ②がん診療における基盤の強化を図るため、緩和ケア研修会への医師受講率90%以上を維持し、がん患者・家族への支援を行う。 ③がん患者が治療を受けながら働ける環境を整えるため、治療と仕事の両立を支援する。					
事業の対象者					
がん患者・家族、一般市民、来院者、職員					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
前橋赤十字病院、足利赤十字病院、NPO法人がんと暮らしを考える会、アデランス					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん患者・家族向けのがん冊子の無料提供、インターネット環境、図書 の整備	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：がん患者・家族、一般の方 時期/回数：平日8：30～17：00
「地域ケア意見交換会」の開催（困りごとや課題等の意見交換）	継続	一部		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：さいたま市内の在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション、地域包括支援センター、基準薬局等の医療従事者の方 時期/回数：月1回（8月は休会）第3木曜日 *感染状況により、オンラインか集合開催を検討
がんゲノム医療	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	対象者：院内外のがん患者
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 1/4				令和 5 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
・ 職員の健康管理、がんに関する知識普及		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
・ 職員の健康管理、がんに関する知識普及に努める		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
全職員、私学共済被扶養者					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
一般社団法人大宮医師会、埼玉県立がんセンター、日本私立学校振興・共済事業団					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
一般定期健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：全職員 時期/回数：年2回の機会を提供
特定業務従事者に対する健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	労働安全衛生法に基づく健康診断を実施 対象者：特定業務従事者 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
特殊健康診断	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	法令に基づく特殊健康診断を実施 対象者：該当職員 時期/回数：配置換えの際及び6カ月以内ごとに1回定期に実施
人間ドックの利用費用補助	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	人間ドック利用料の助成 対象者：35歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
郵送検診の実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 ⑨	大腸がん、肺がん、胃がん、前立腺がんの郵送検診を実施 対象者：30歳以上の私学共済加入者及び被扶養者
緩和ケア研修会の開催	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者 時期/回数：年1回
化学療法研修会の開催	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨	化学療法に関する最新の知見を提供 対象者：医療従事者
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載させていただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 2/4				令和 5 年度分	
事業名			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
<ul style="list-style-type: none"> 受動喫煙防止、禁煙推進 最新知識、技術の習得支援 					
事業の目標					
<ul style="list-style-type: none"> 喫煙によるがん罹患の防止に努める 最新知識、技術の習得支援に努める 					
事業の対象者					
全職員、私学共済被扶養者、看護師					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
日本私立学校振興・共済事業団、自治医科大学大学院医学研究科、自治医科大学看護師特定行為研修センター					
取組の内容	新規継続	オンライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
私学事業団健康相談ダイヤル	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	健康医療等電話相談サービスを実施（健康相談、医療相談、介護相談など） 対象者：私学共済加入者
職場巡視における喫煙状況調査の実施	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙の状況について調査を実施 対象者：全職員 時期/回数：定期
敷地内全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	受動喫煙防止の観点から敷地内全面禁煙を実施
禁煙外来の開設	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	健康保険を利用した禁煙外来を開始し、喫煙者率の減少に努めている
がん化学療法看護認定看護師 がん性疼痛看護認定看護師等の育成 （資格取得に係る費用の助成）	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	資格取得にかかる費用の助成 対象者：希望職員
臨床腫瘍学講義の実施 （自治医科大学大学院医学研究科で開講している臨床腫瘍学の講義を受講可能としている）	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	自治医科大学大学院医学研究科（栃木県下野市）で開催している臨床腫瘍学の講義を当センターでも受講可能にしている
看護師特定行為研修の実施	継続	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	手順書により一定の診療の補助を行うことのできる看護師の養成
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 （次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 3/4				令和 5 年度分	
事業名 ・患者、市民向け知識普及			分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及	
事業の目標 ・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める				2 受動喫煙の防止と禁煙	
				3 がん検診の受診率の向上	
			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者 外来患者、入院患者、患者家族、地域の医療従事者、一般市民					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体 さいたま市4医師会、埼玉新聞社、ハローワーク大宮					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
公開講座の開催	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	公開講座を開催し、がんに関する正しい知識の普及に努めている 対象者：市民（1回/100人程度） 時期/回数：年1回開催
がんサロンの開催	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	療養体験や気持ちを分かち合い、勉強会などを行うがんサロンを開催 対象者：がん患者や家族 時期/回数：年6回
おしごと継続・就労相談会の開催	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	ハローワーク大宮と連携し、就労相談会を院内で開催 時期/回数：毎月2回、原則第1火曜日と第3金曜日、事前予約制
緩和ケア研修会の開催（再掲）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	厚生労働省指針に基づく緩和ケア研修会 対象者：医療従事者（地域の医療従事者も参加可能） 時期/回数：年1回
院内がん登録の公表	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	がん診療連携拠点病院における院内がん登録標準登録様式に基づき、1腫瘍1登録とし、入外を問わず登録し、ホームページ上で公表
がん相談支援センターの開設	継続	なし		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	医療・療養・生活上の不安や悩みなどに相談対応 対象者：患者・家族等
セカンドオピニオン外来の開設	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	自由診療にて専門の医師がセカンドオピニオンに対応
取組の成果、感想など				今後の方向性	
今回は記入不要です。 （次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。）					

各団体取組シート

団体名：自治医科大学附属さいたま医療センター 4/4				令和 5 年度分		
事業名 ・患者、市民向け知識普及 ・緩和ケア実践				分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の目標 ・患者および市民に対し、がんに関する正しい知識の普及に努める ・適切なタイミングでの緩和ケア実践に努める						
事業の対象者 外来患者、入院患者、患者家族、一般市民						
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体						
（空欄）						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				（該当する数字に○）		
緩和ケアチームを組織	継続	なし		①	② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなどによる緩和ケアチームを組織し、適切なタイミングで緩和ケアを提供できる体制を整備
取組の成果、感想など				今後の方向性		
今回は記入不要です。 （次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。）						

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		1/2	令和 5 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
がん患者・家族の支援		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
がん患者及びその家族					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん患者サロン、はなみずき会 (ミニレクチャー、座談会)	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	対象者：がん患者及びその家族（受診の有無は問わない） 時期/回数：毎月第4水曜日、13時～15時
告知後の患者支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：市立病院でがん告知を受けた患者・家族
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：市立病院の入院中のがん患者・家族
がん相談支援センターの活用	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	面談又は電話相談 対象者：がん患者及びその家族（受診の有無は問わない） 時期/回数：平日8時30分～17時
就労支援	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ ⑨	社会保険労務士、ハローワーク職員による相談会実施 対象者：市立病院かかりつけのがん患者 時期/回数：毎月第3水曜日13時～15時
退院調整看護師の活用	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅への調整、退院後、自宅への訪問を行っている 対象者：がん患者・家族
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま市立病院		2/2	令和 5 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
がん患者・家族の支援		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
がん患者と家族が抱える、がんに伴う様々な苦痛の緩和・家族への支援を行う			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
がん患者及びその家族					
事業を展開する上で協働した課所、機関、団体					
さいたま市保健福祉局保健部健康増進課、ハローワーク大宮、社会保険労務士					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
緩和ケア研修会においてがん体験者やケア提供者等からの講演を研修内容に取り入れる	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	がん診療に携わる院内外の医師を対象に行っている緩和ケア研修会でがんサバイバーの方からの講演を対面で実施する
がん患者の苦痛のスクリーニング結果に対するセルフケア指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	作成したパンフレットを使用し、セルフケアを指導する 対象者：入院がん患者のうちスクリーニング結果が3以上の患者
経口抗がん剤使用患者に対する皮膚障害予防のための指導	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	皮膚障害を予防するために外来からセルフケア指導、評価を行う 対象者：経口抗がん剤を使用する患者
がん治療時の医科歯科連携を行い、治療に伴う口腔内合併症を予防する	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	歯科と連携し口腔内の環境を整える 対象者：がん治療（手術、化学療法、放射線療法）前の患者
がん患者のアピアランスケア支援	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 ⑧ 9	外見ケア支援として情報提供やケア方法の検討・アドバイスを行う 対象者：がん患者
経口抗がん剤使用患者への説明用紙の整備	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：経口抗がん剤を使用する患者 時期：内服開始前に同意文書による説明を行う
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま市4医師会連絡協議会				令和 5 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
①がん検診の受診勧奨や啓発 ②在宅医療・緩和ケアの推進		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別施策 (参考)				
①がん検診の受診率の向上 ②研修会の開催や参加等により、在宅医療・緩和ケアの理解を深める。		3 がん検診の受診率の向上				
		4 がん検診の質の向上				
		5 在宅医療の推進				
		6 緩和ケアの充実				
		7 相談支援体制の活用				
		8 情報提供の充実				
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業の対象者						
医師会会員、検診実施医療機関、訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター						
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体						
訪問看護ステーション、介護支援事業所、地域包括支援センター、さいたま市						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)		対象者、時期/回数、参加人数など
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	1 2 3 4 5 6 7 8 9	
がん検診の実施及び受診勧奨	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 9		胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん(触診)、乳がん(X線)、子宮がん(頸)、子宮がん(体) 時期/回数: R5.4.27~R6.3.9
大宮在宅医療支援センターを通じたがん患者への在宅医療	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 9		
在宅医療・緩和ケアに関する研修会及び勉強会の開催	継続	一部		1 2 3 4 5 6 7 8 9		医師会会員・訪問看護ステーション、ケアマネージャー、地域包括支援センター等 時期/回数: 年2回
さいたま赤十字病院との緩和ケア意見交換会の開催	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 8 9		医師会会員・訪問看護ステーション、ケアマネージャー、地域包括支援センター等 時期/回数: 月1回
さいたま赤十字病院がん診療連携セミナーへの参加	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9		病院職員・医師会会員及び医療従事者 時期/回数: 年2回程度
取組の成果、感想など				コロナ禍における対策及び今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載させていただきます。)</p>						

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会(浦和歯科医師会)		令和 5 年度分			
事業名	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及			
口腔がん検診		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
口腔がん患者の早期発見、及び口腔がんに対する啓蒙活動	4 がん検診の質の向上		5 在宅医療の推進		
	6 緩和ケアの充実		7 相談支援体制の活用		
	8 情報提供の充実		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
さいたま市 市民					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
埼玉県立がんセンター口腔外科		さいたま市立病院 歯科口腔外科			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
口腔がん検診講習会	継続	一部		① 2 ③ ④ 5 6 ⑦ 8 9	対象者：浦和歯科医師会会員 および歯科医師 時期/回数：R5 7月 対象人数：60名(会場参加者)
口腔がん検診	新規	なし		1 2 ③ ④ 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市民 時期/回数：① 対象人数60名
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会(大宮歯科医師会)		令和 5 年度分	
事業名 ①大宮歯科医師会 公開市民講座		分野別 施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及
事業の目標 ①講話・健診・歯科相談を通じ地域市民のお口の健康についての意識向上を図る			2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実
事業の対象者 さいたま市在住（健診は40歳以上）			
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体			
取組の内容		新規 継続	オン ライン
口腔がんに関する講話・健診・歯科相談		継続	なし
		中止	① 2 3 4 5 6 7 8 9
			対象者：さいたま市在住の方（健診は40歳以上） 時期/回数：1～2回 対象人数：
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 対象者： 時期/回数： 対象人数：
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 対象者： 時期/回数： 対象人数：
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 対象者： 時期/回数： 対象人数：
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 対象者： 時期/回数： 対象人数：
			1 2 3 4 5 6 7 8 9 対象者： 時期/回数： 対象人数：
取組の成果、感想など		今後の方向性	
今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)			

各団体取組シート

団体名：さいたま市歯科医師会(与野歯科医師会)			令和 5 年度分		
事業名 ①市民向け講演会 ②会員を対象とする研修会			分野別 施策 (参考)		
事業の目標 がんに関する正しい知識の普及と啓発					
1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
事業の対象者 ①さいたま市民 ②与野歯科医師会会員					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
(協働する課所、機関、団体の記入欄)					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
口腔がんに関する研修会	継続	一部		① 2 3 ④ 5 6 7 8 9	対象者：歯科医師会会員 時期/回数： 対象人数：
市民向け講演会	新 規	一部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：さいたま市民 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
				1 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者： 時期/回数： 対象人数：
取組の成果、感想など			今後の方向性		
今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)					

各団体取組シート

団体名：(一社)さいたま市薬剤師会			令和 5 年度分		
事業名 ①「さいたま地域連携Network」を基盤とした地域連携の推進 ②入退院時連携における支援管理体制の整備 ③セルフケアの推進			分野別施策 (参考) 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の目標 ①地域連携の中で活躍できる薬剤師の育成と活用できるツールを開発する。 ②癌治療が外来治療へと変遷していることを念頭に、入院から退院、転院をサポートするためのフローチャートの作成とかかりつけ機能を推進する ③自治体レベルでのサロンへの介入や地域健康イベントに積極的に参加するとともに、健康サポート薬局を中心としたセルフケア対策事業（フレイル、サルコペニア予防）を推進する。					
事業の対象者 地域の保険薬局・薬剤師・医療機関・地域住民					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体 医師会、歯科医師会、病院、診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他薬剤師会					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
癌治療における薬薬連携体制の構築	継続	一部		1 2 ③ 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員（病院） 時期/回数：12回/年（会議等） 対象人数：600名
癌に関する専門薬剤師の育成	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：さいたま市薬剤師会会員 時期/回数：6回/年（研修会） 対象人数：100名
入院時連携体制の構築（服薬）	新規	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：市内病院薬剤師、薬局薬剤師 時期/回数：10回 対象人数：800名程度
地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の推進	新規	なし		① 2 ③ 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：市内会員店舗 管理薬剤師 時期/回数：随時 対象人数：約400名（400店舗で概算）
さいたま市版お薬手帳の作成	継続	なし		1 2 ③ ④ ⑤ 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：随時 対象人数：不明
各種市民向けイベントにおける癌啓発活動の実施（薬物乱用防止、健康フェア）	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：地域イベントに準ずる 他、2回/年（薬剤師会主催） 対象人数：不明
市民向け講演会の実施	新規	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期/回数：4回/年 対象人数：100～200名程度/回
取組の成果、感想など			今後の方向性		
今回は記入不要です。 （次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。）					

各団体取組シート

団体名：埼玉県看護協会		令和 5 年度分			
事業名	看護職に対するがん看護についての集合研修	1 がんに関する正しい知識の普及			
事業の目標		2 受動喫煙の防止と禁煙			
がん看護について看護専門職として必要な看護実践能力向上を図る		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
	5 在宅医療の推進				
事業の対象者	6 緩和ケアの充実				
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体	7 相談支援体制の活用				
特になし	8 情報提供の充実				
	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん薬物療法看護	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期／回数：8月3日 対象人数：100人
がん性疼痛看護	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期／回数：7月5日 対象人数：100人
がんサバイバー	継続	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期／回数：2024年1月24日 対象人数：100人
がん治療の最前線	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期／回数：9月1日（半日） 対象人数：100人
患者・家族の生き方から学ぶ緩和ケア（在宅）	新規	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：会員・非会員 時期／回数：2024年1月13日 対象人数：150人
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：埼玉県訪問看護ステーション協会				令和 5 年度分	
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
①訪問看護師の確保・育成 ②経営安定化支援 ③医療・介護の連携 ④在宅療養の知識の普及			2 受動喫煙の防止と禁煙		
事業の目標			分野別施策（参考）		
①訪問看護師の確保・育成をし、各ステーションの大規模化を図り、24時間体制の充実を図る			3 がん検診の受診率の向上		
②3医師会（医師・歯科医師・薬剤師）との連携・充実を図り看護師の質向上につなげる			4 がん検診の質の向上		
③市民向けの講座で市民が在宅療養に必要な資源を知ることができ、活用できる			5 在宅医療の推進		
事業の対象者			6 緩和ケアの充実		
住民・患者・家族・県内外医療従事者・地域包括ケアシステムに係る多職種・県内訪問看護ステーション			7 相談支援体制の活用		
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体			8 情報提供の充実		
埼玉県医療人材課・埼玉県立大学・高校・訪問看護ステーション・医師会・歯科医師会・医療機関			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				（該当する数字に○）	
訪問看護師育成プログラム普及事業	継続	一部		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	対象者：新卒訪問看護師 時期/回数：前期後期ともに10日間 対象人数：10人公開講座30人
訪問看護ステーション体験実習	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	対象者：中高生、潜在看護師、病院看護師等 時期/回数：4月～2月 対象人数：230人
訪問看護ステーション経営サポート	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：訪問看護師、事務担当者 時期/回数：年5回 対象人数：各50人程度
訪問看護相談・コールセンターの運営	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ 9	対象者：県民、介護事業者、訪問看護師、管理者 時期/回数：月～金10:00～16:00
教育ステーション事業	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 ⑨	対象者：関連職種、病院、新規事業者、訪問看護師、管理者 時期/回数：川口、越谷、熊谷地域 対象人数：ZOOMは全県対象
訪問看護管理者研修	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9	対象者：新任訪問看護管理者 時期/回数：2回 対象人数：50人程度
ステーション協会での研修アナウンス	新規	なし		① 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 ⑧ ⑨	対象者：さいたま市内訪問看護師 時期/回数：適宜 対象人数：50人以上
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:さいたま市民医療センター				令和 5 年度分			
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及					
埼玉県がん診療指定病院としての役割推進		2 受動喫煙の防止と禁煙					
事業の目標		分野別施策(参考)					
<ul style="list-style-type: none"> 緩和ケアの活動推進 がん知識向上の支援(市民、患者、職員) がん患者および家族への相談支援 禁煙の推進 		3 がん検診の受診率の向上					
		4 がん検診の質の向上					
		5 在宅医療の推進					
		6 緩和ケアの充実					
		7 相談支援体制の活用					
		8 情報提供の充実					
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
		事業の対象者					
		一般市民、患者、患者家族、職員					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体							
さいたま市4医師会							
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など	
				(該当する数字に○)			
専門医による緩和ケアに関するがん カウンセリング	継続	なし	全部 (○)	1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内患者、患者家族 主治医からの依頼で実施 令和5年度再開検討中		
緩和ケアチームによる院内ラウンド	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	院内入院患者、週1回実施		
がん患者会の開催	継続	なし	全部 (○)	1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	院内外患者、年複数回実施 令和5年度再開検討中		
禁煙外来の受診勧奨	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	喫煙者、患者、職員		
病院敷地内での禁煙措置	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	患者、患者家族、来院者、職員		
市民公開講座の開催	新規	全部		① 2 3 4 5 6 7 8 9	一般市民、年1回程度、オンラインでの開催		
取組の成果、感想など				今後の方向性			
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>							

各団体取組シート

団体名：埼玉メディカルセンター				令和 5 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
埼玉県がん診療指定病院		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
<ul style="list-style-type: none"> がん患者と家族への支援 がんに関する知識の普及 		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
がん患者とその家族、職員					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
緩和ケアチーム活動	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中の患者・家族 時期/回数：週1回カンファレンス・回診、 月1回定例会議
緩和ケア研修会	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内外の医療従事者 *コロナの状 況で対象者変更あり 時期/回数：1回
緩和ケア外来	継続	なし		① 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院通院中の患者・家族 時期/回数：週1回 木曜日
がん相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：院内外のがん患者・家族 時期/回数：平日8：30～16:00
乳がん認定看護師による看護相談	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：当院で治療されている患者・家族 時期/回数：毎週月曜日 予約制
退院調整看護師、地域連携室との連携	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 ⑦ 8 9	対象者：入院中の患者・家族、緩和外来通院 中の患者を対象に療養場所の調整
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：彩の国東大宮メディカルセンター				令和 5 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
埼玉県がん診療指定病院		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上			
がん患者様およびご家族の支援			4 がん検診の質の向上			
			5 在宅医療の推進			
			6 緩和ケアの充実			
			7 相談支援体制の活用			
			8 情報提供の充実			
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者						
がん患者様およびご家族、職員、地域の医療従事者						
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体						
地域の医療機関、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん相談支援センター	継続	なし		1 2 3 4 5 6 ⑦ 8 9	対象者：がん患者様およびご家族など 時期/回数：平日10時～16時、随時 対象人数：不問	
がん関連の情報提供	継続	なし		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：がん患者様およびご家族、一般市民 時期/回数：随時 対象人数：不問	
がん患者サロン（いこいの場）	継続	なし		① 2 3 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：基本は院内の患者様およびご家族 時期/回数：4回/年（3月・6月・9月・12月） 対象人数：希望者	
緩和ケアチーム活動	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：当院入院中のがん患者様およびご家族 時期/回数：週1回 対象人数：依頼があったケースに対応	
緩和ケア研修会開催	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の医療従事者 時期/回数：3月/年1回 対象人数：18名募集	
さいたま市北部緩和ケア研究会	継続	なし		1 2 3 4 5 6 7 8 ⑨	対象者：大宮・与野・岩槻医師会管轄の医療機関、居宅 介護支援事業所、訪問看護ステーション職員 時期/回数：3月・9月/年2回 対象人数：希望者	
人生会議相談窓口の設置 (Advance Care Planning)	継続	なし		1 2 3 4 5 ⑥ 7 8 9	対象者：院内の患者様およびご家族 時期/回数：平日10時～16時 対象人数：不問	
院内・敷地内の全面禁煙	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：患者様および職員 時期/回数：随時 対象人数：全員	
がん検診	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：さいたま市民に対しがん検診対応 時期/回数：2023年4月～2024年3月 対象人数：希望者	
取組の成果、感想など				今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>						

各団体取組シート

団体名：保健衛生総務課				令和 5 年度分		
事業名 ①若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 ②がん教育出前講座 ③がん対策推進講演会 ④受動喫煙防止対策 ⑤がんに関する情報提供				分野別施策 (参考) 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の目標 ①在宅医療の推進による末期がん患者の療養生活の質の向上 ②がんに関する正しい知識の普及によるがんの予防の推進 ③⑤情報提供の充実によるがん患者の状況に応じた支援体制の充実 ④受動喫煙の防止と禁煙によるがんの予防の推進						
事業の対象者 市民、教育関係者						
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体 さいたま市4医師会、さいたま市歯科医師会、さいたま市立病院、さいたま赤十字病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター、埼玉県立がんセンター、çava!～さいたまBEC～、あけぼの会あけぼの埼玉、健康教育課						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援補助金の交付	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9		対象者：20～39歳の市在住末期がん患者 (18歳以上の小児慢性対象外を含む)
がん教育出前講座	継続	一部		① ② ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：市立学校の児童生徒、教員、保護者 時期/回数：計6校で実施
がん対策推進講演会	継続	一部		① 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9		対象者：市民 時期/回数：11月頃 開催方式は検討中
禁煙外来リスト配布及び第4版の作成	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9		対象者：市民 時期/回数：第4版を作成し、3月までに配布
市ホームページに医療用ウィッグ・サポート店一覧を掲載	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9		対象者：医療用ウィッグを必要とするがん患者 サポート店は随時募集し、更新中
取組の成果、感想など				今後の方向性		
今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)						

各団体取組シート

団体名：地域医療課			令和 5 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
医療機関情報の発信		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
医療機関検索サイト「医療なび」の実施			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
市民					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
「医療なび」の周知	継続	全部		1 2 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：市民 時期／回数：通年（365日）
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:いきいき長寿推進課				令和 5 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
在宅医療・介護連携推進事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
地域の医療・介護関係者による会議の開催、在宅医療・介護関係者の研修等を行い、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制の構築を推進する。		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
医療関係者、介護関係者、行政					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護事業所、療法士会、栄養士会、介護支援専門員協会、社会福祉協議会、地域包括支援センター、各区役所高齢介護課、介護保険課、地域医療課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	
				(該当する数字に○)	
在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	継続	なし		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療・介護連携推進会議において、現状や課題について情報共有、対応策の検討などを行います。
医療・介護関係者の研修	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	医療や介護に関する研修会を開催する。 対象者：医療・介護等の多職種
地域住民への普及啓発	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と介護に関する講演会を開催します。また、在宅医療連携拠点の普及啓発に取り組みます。 対象者：地域住民
医療・介護関係者の情報共有の支援	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	市全域での入退院支援ルールを策定したことから、ルールの運用と周知に取り組みます。
切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	在宅医療と在宅介護が一体的に提供される体制の構築を検討し、策定した入退院支援ルールの運用と周知に取り組みます。
在宅医療・介護連携に関する相談支援	継続	一部		1 2 3 4 ⑤ 6 7 8 9	ケアマネジャーの資格を有する看護師などがコーディネーターとして、在宅医療・介護連携に関する相談に対応します。 対象者：市民や関係者
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：地域保健支援課				令和 5 年度分		
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及				
①がん検診の受診率向上対策の推進 ②がん検診精密検査対象者への受診勧奨		2 受動喫煙の防止と禁煙				
事業の目標		分野別施策 (参考)				
①市民のがん検診受診を促し、受診率を向上させる。 ②がん検診及び精密検査の必要性の正しい知識の啓発と受診促進を行うことで質の高い検診を目指す。		3 がん検診の受診率の向上				
		4 がん検診の質の向上				
		5 在宅医療の推進				
		6 緩和ケアの充実				
		7 相談支援体制の活用				
		8 情報提供の充実				
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業の対象者						
市民						
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体						
各区保健センター、中央図書館、大宮図書館、医師会						
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)		対象者、時期/回数、参加人数など
				①	②	
がん検診対象初年度無料事業の実施	継続	なし		1 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：今年度初めて市のがん検診の対象になった市民 時期/回数：令和5年度の検診実施期間中
がん検診の個別勧奨・再勧奨はがきの送付	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：個別勧奨はがき→令和5年4月中旬発送予定、再勧奨はがき→令和5年9月下旬発送予定
さいたま市二十歳の集いでの子宮頸がん検診の啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：今年度20歳になった市民 時期/回数：令和6年二十歳の集いで実施予定
精密検査対象者への個別の精密検査受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9		対象者：がん検診で精密検査が必要だと判断された市民のうち未受診者 時期/回数：1次検診受診報告日より4か月後
中央図書館及び大宮図書館でがん関連情報特集コーナーを作成、資料を配架	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		時期/回数：令和5年10月実施予定
SNSを活用したがん検診の啓発	継続	全部		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9		対象者：市のがん検診対象の市民 時期/回数：随時実施予定
取組の成果、感想など				今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>						

各団体取組シート

団体名：西区役所保健センター				令和 5 年度分		
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及			
がん検診受診勧奨 がんについての啓発			2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標			分野別 施策 (参考)			
①がん検診を受診し、早期発見・治療につながる			3 がん検診の受診率の向上			
②がんについての知識を持ち、予防やセルフチェックなど自身でケアすることができる			4 がん検診の質の向上			
③自身の健康について関心を持ち、相談・受診などの行動をとれる			5 在宅医療の推進			
事業の対象者			6 緩和ケアの充実			
市民全般、市内在住のがん検診受診対象者およびその家族			7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体			8 情報提供の充実			
JR東日本（指扇駅）			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策		対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)		
がん検診受診勧奨	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		区役所内2か所にてがん検診受診勧奨について掲示、各教室にて随時受診勧奨、区報掲載
駅前での啓発活動	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		指扇駅にて検診受診勧奨等について啓発グッズを配布予定 時期／回数：11月24日
がん精健未受診フォロー（女性のが ん）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		受診状況の確認、および受診勧奨の連絡 対象者：精密検診未受診の方
健康相談（随時）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		来所・電話などがんについての相談を随時行 う
乳がんについての講話（依頼教育）	継続	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		対象者：乳幼児を持つ保護者 時期／回数：10月
女性のがんについての講話 （教室参加者へのミニ講話）	新 規	なし		① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨		対象者：乳幼児を持つ保護者（母） 時期／回数：月1回 計12回 対象人数：144名
取組の成果、感想など				今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>						

各団体取組シート

団体名：北区役所保健センター		令和 5 年度分			
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がんに関する知識の普及 ②がん検診の重要性について啓発 ③受動喫煙についての啓発および禁煙方法の周知		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策（参考） 3 がん検診の受診率の向上			
①がんやがん検診について知り、健(検)診の重要性を理解する。		4 がん検診の質の向上			
②たばこの害や受動喫煙について理解し、禁煙の方法を知る。		5 在宅医療の推進			
事業の対象者		6 緩和ケアの充実			
北区民		7 相談支援体制の活用			
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体		8 情報提供の充実			
子育て支援センター等		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
育児学級・離乳食教室でがん検診受診勧奨のチラシ配布	継続			1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	育児学級・離乳食教室の対象者の保護者を対象に、年24回実施。
エレベータホールにおいてがん検診受診勧奨の掲示・チラシの配布	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	保健センター来所者へポスター等を掲示。
健康教育においてミニ講義	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	小学生の子を持つ保護者を対象（定員20人）に、2023年8月9日実施。
子育て支援センター等においてミニ講義、乳がん自己触診体験	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	子育て支援センター等来所者、依頼時に実施。
けんこうギャラリーにおいてがん検診の啓発	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	プラザノースにて、来庁者に向け実施。
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：大宮区役所保健センター		令和 5 年度分			
事業名	がんの予防と早期発見の推進	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及		
			2 受動喫煙の防止と禁煙		
			3 がん検診の受診率の向上		
			4 がん検診の質の向上		
事業の目標			5 在宅医療の推進		
<ul style="list-style-type: none"> がん予防の推進 がんの早期発見・早期治療の推進 			6 緩和ケアの充実		
			7 相談支援体制の活用		
			8 情報提供の充実		
			9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の対象者					
市民（大宮区民）					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
大宮区役所総務課、コミュニティ課、大宮図書館、子育て支援センターおおみや、さいたま市食品衛生協会、大宮高島屋					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
がん検診精密検査未受診フォロー(乳がん・子宮がん精密検査未受診者)	継続			① 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	対象者：乳がん・子宮がん検診精密検査未受診者 時期／回数：随時
区報によるがん検診受診勧奨・正しい知識の啓発	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：大宮区民 時期／回数：市報さいたま大宮区版7月号、10月号に記事を掲載予定
がん検診ポスターやのぼり旗の設置	継続			① 2 ③ 4 5 6 ⑦ ⑧ 9	対象者：市民 時期／回数：通年及び受診勧奨月間
大宮高島屋館内放送でのがん検診受診勧奨	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	対象者：商業施設利用者、市民 時期／回数：令和5年5月～令和6年3月
健康教室での教育・啓発活動	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：教室参加者
大宮区主催のイベントでの啓発活動	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	対象者：イベント来場者
大宮区役所内でのチラシ配布・パネル設置などの普及啓発	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	対象者：市民 時期／回数：通年及び受診勧奨月間
大宮図書館での普及啓発	新規			① 2 ③ 4 5 6 7 ⑧ ⑨	対象者：図書館来館者 時期／回数：令和5年9月
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：見沼区保健センター			令和 5 年度分		
事業名 ①がん検診の受診勧奨 ②喫煙や受動喫煙に対する正しい知識の普及、禁煙支援			分野別施策（参考） 1 がんに関する正しい知識の普及 2 受動喫煙の防止と禁煙 3 がん検診の受診率の向上 4 がん検診の質の向上 5 在宅医療の推進 6 緩和ケアの充実 7 相談支援体制の活用 8 情報提供の充実 9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実		
事業の目標 ①がん検診の重要性と正しい知識の普及及び啓発を行う事で、健診の受診率向上を図る、 ②SNS等を含めた禁煙啓発を行い、喫煙者の禁煙への意識を高め、禁煙行動や受動喫煙について考えるきっかけとする。					
事業の対象者 見沼区民					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体 総務課、コミュニティ課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
保健センター主催教室・健康相談でのがん検診受診勧奨	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者（母子事業も含む） 時期／回数：通年／約12回 対象人数：約270人
展示コーナーにおけるがん予防特設コーナーの設置	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期／回数：通年
禁煙週間の取り組み （特設コーナーの設置、広報誌等による普及啓発、受動喫煙防止の普及啓発）	継続	なし		1 ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者 時期／回数：5月31日～6月6日
乳がん月間の取り組み （センター職員による乳がん啓発名札の着用、乳がんモデルでの自己触診法体験）	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者、保健センター来所者、むし歯予防教室参加者 時期／回数：乳がん月間（10月）
SNSにてがん検診、禁煙の普及啓発の発信	継続	全部		① ② 3 4 5 6 7 ⑧ 9	対象者：SNS利用者、区役所来庁者 時期／回数：5月31日～6月6日、10月
区内保育園でのがんについての知識の普及啓発とがん検診受診勧奨	新規	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保育園児の保護者 時期／回数：通年／約15回 対象人数：約160人
取組の成果、感想など			今後の方向性		
今回は記入不要です。 （次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。）					

各団体取組シート

団体名：中央区保健センター				令和 5 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診受診勧奨 ②乳がん予防・早期発見についての普及啓発 ③禁煙に関する啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
①がん検診を受け、早期発見を図ることで早期治療に結びつける ②乳がんに対する意識を高め、乳がん検診を受け早期発見・早期治療に結びつける ③喫煙習慣のある人や受動喫煙を減らす		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
保健センター事業参加者、保健センター来所者、区内施設利用者					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
区役所、区内施設、児童センター、食生活改善推進員協議会中央支部					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
1. がんに関する教育 (1) 保健センター主催教室開催時に、がん検診受診勧奨及びがん予防等についてミニ講話を実施 (2) 児童センター依頼教育にて、乳がん予防・早期発見について講話 (3) 保健センター主催教室開催時に、禁煙についてミニ講話を実施 (4) 中央区食生活改善推進員へ、乳がん予防・早期発見について講話 (5) むし歯予防教室にて、乳がん予防・早期発見について講話	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	時期/回数： (1) 令和5年5月19日 (2) 対象者：児童センター利用の母親(授乳期含む) 時期/回数：令和5年6月20日、10月23、27日 (3) 令和5年10月4日 (4) 対象者：中央区食生活改善推進員 時期：令和5年12月 (5) 対象者：むし歯予防教室に参加した母 時期：令和5年4月～令和6年3月
2. がん予防・早期発見についての普及啓発 (1) 保健センター窓口とロビーに、がん検診受診勧奨及びがん予防等に関するポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (2) 禁煙週間に合わせ、保健センター窓口とロビーにポスター掲示及びパンフレット・啓発品を配布 (3) 区役所ロビーおよび協力が得られた区内施設にて、乳がん予防啓発についての資料の掲示と配布、乳がんセルフチェック体験を実施(ローズリボンキャンペーンとして実施) (4) 区民まつり参加者にがん検診受診勧奨啓発品配布	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	(1) 通年実施 (2) 令和5年5月1日～6月6日 (3) 対象者：区役所来庁者、区内施設利用者 時期：令和5年10月17日～10月31日 (4) 令和5年11月区民まつり開催日
3-1 広報(区報) (1) 市報中央区版に禁煙に関する記事を掲載 (2) 市報中央区版にがん検診受診勧奨及びがん予防等に関する記事を掲載 (3) 市報中央区版に乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	時期/回数： (1) 令和5年5月号市報に掲載 (2) 令和5年7月号、11月号市報に掲載 (3) 令和5年10月号市報に掲載
3-2 広報(Twitter掲載) (1) 中央区Twitterに禁煙に関する記事を掲載 (2) 中央区Twitterにがん検診に関する記事を掲載 (3) 中央区Twitterに乳がん予防・早期発見に関する記事を掲載	継続	全部		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	(1) 時期：令和5年5月 (2) 時期：令和5年7、10、11月 (3) 時期：令和5年10月
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">(次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：桜区役所保健センター			令和 5 年度分		
事業名			1 がんに関する正しい知識の普及		
①がん検診の受診勧奨 ②がんについての普及啓発 ③禁煙に関する普及啓発			分野別 施策 (参考)	2 受動喫煙の防止と禁煙	
事業の目標				3 がん検診の受診率の向上	
①健診受診・精検受診勧奨により、がんの早期発見・治療につなげる ②がんについて正しく理解し、がん予防を知る ③喫煙について正しく理解し、禁煙の必要性を知る				4 がん検診の質の向上	
				5 在宅医療の推進	
事業の対象者			6 緩和ケアの充実	7 相談支援体制の活用	
市民（桜区民）			8 情報提供の充実	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実	
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
コミュニティ課、総務課、桜図書館、プラザウエスト、公民館、児童センター、子育て支援センター 等					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
区役所内にて、がん検診受診勧奨・禁煙のポスター、パンフレット等設置	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来場者 時期/回数：5月・10月
区役所内にて、がん検診受診勧奨の放送を実施	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来場者 時期/回数：5月・10月
区報によるがん検診受診勧奨・禁煙の啓発記事の掲載	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区民 時期/回数：5月号・12月号
健康教室等でのがん検診受診勧奨・がん予防、禁煙の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：教室参加者 時期/回数：5月・10月
がん検診精密検査未受診フォロー（乳がん・子宮がん精密検査未受診者）	継続	なし		1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9	対象者：がん検診精密検査未受診者 時期/回数：随時
保健センター窓口にて禁煙指導用肺モデル、タールサンプルの設置	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター来場者 時期/回数：随時
禁煙週間に保健センター窓口で啓発用ポケットティッシュの配布	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター来場者 時期/回数：5月
区民まつり・ロビーコンサートでのがん検診受診と禁煙の普及啓発リーフレット・ポケットティッシュ配布	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：イベント来場者 時期/回数：10月
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載させていただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：浦和区役所保健センター		令和 5 年度分			
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨 ②受動喫煙防止の啓発 ③乳がん自己触診の普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
①がん検診を受診する必要性が分かる。 ②受動喫煙の機会を減らし、がんの発生リスクを下げる。 ③乳がん自己触診の実施方法を理解し、検診の受診意欲を高める。			4 がん検診の質の向上		
			5 在宅医療の推進		
			6 緩和ケアの充実		
		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実		
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
浦和区保健センター及び浦和区役所来庁者 教室参加者					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
浦和区役所各課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
各種教室等において、がん検診の受診勧奨、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：母子手帳交付時面接実施者（随時）、各健康づくり教室参加者（随時）
むし歯予防教室にて、乳がんに関する講話の機会を設け、若い世代からの予防・検診の重要性等の意識づけを図る	新規	なし		① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：むし歯予防教室参加者 時期/回数：毎月1回 対象人数：24名/回
健康スポットにおいて、がん検診の受診勧奨、がん予防普及啓発、受動喫煙防止の啓発	継続	なし		① ② ③ 4 5 6 7 ⑧ 9	時期/回数：全開庁日
女性のヘルスチェック受診後の要指導者に対して、子宮がん検診の普及啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期/回数：随時
乳がん月間において、ピンクリボン及び啓発メッセージ入りの区役所職員用名札の作成・着用	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期：10月
Twitterや市報において、がんに関する知識の普及啓発	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	時期/回数：随時
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：南区役所保健センター		令和 5 年度分			
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診受診に関する啓発 ②がん検診受診勧奨に関するコーナーの設置 ③禁煙相談事業の実施		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		3 がん検診の受診率の向上			
①②がん全般に関する知識や乳がんの自己検診法を学び、検診及び予防の必要性を理解することができる。 ②③喫煙や受動喫煙の害を知り、禁煙の必要性を理解し、禁煙行動への意識を持つことができる。		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
		事業の対象者			
		区民を中心とした市民			
		事業を展開する上で協働する課所、機関、団体			
なし					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
保健センター主催の生活習慣病予防教育でのがん検診受診の啓発	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：①20～40歳代の母と生後6か月以上で概ね8kgの児、 ②小学生とその保護者、③小学生とその保護者 ④30～50歳代の女性、⑤20～50歳代の区民 ⑥20～40歳代の女性、⑦40～74歳の市民 ⑧1歳児とその父 時期／回数：①6/8、②8/6、③8/9、④9/8、 ⑤9/28、⑥10/5、⑦10/13、⑧11/26 対象人数：90人
地区依頼教育での乳がん検診（自己検診法を含む）の説明	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区内在住の乳幼児を持つ母 時期／回数：2、3回／年 対象人数：40人
庁舎内の健康啓発コーナー等における、がん検診受診・禁煙に関する啓発媒体の展示	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：パネル展示・パンフレット等の配布 時期／回数：年間を通じて実施
禁煙相談の実施	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区内在住の禁煙希望者とその家族 時期／回数：保健センター開庁日（予約制）
体組成測定会でのがん予防・検診受診に関するPR	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区民または市民 時期／回数：6/7、10/20、2/8 対象人数：90人
受動喫煙に関する啓発（ポケットティッシュ、チラシの配布等）	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：妊娠届出申請者 時期／回数：妊娠届出申請時 対象人数：約1800人
サウスピア7階の窓ガラス（武蔵浦和側）に、禁煙を促すキャッチコピーを掲示	継続			1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：武蔵浦和駅利用者等 時期／回数：5、6月頃
Twitterでのがん検診受診、禁煙に関する啓発	継続			① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨	対象者：区民または市民 時期／回数：1回／年
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p style="color: red; font-weight: bold;">今回は記入不要です。</p> <p style="color: red;">（次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。）</p>					

各団体取組シート

団体名：緑区役所保健センター		令和 5 年度分			
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①健康教室等において、がん検診の受診勧奨や乳がん自己検診法等の普及を行う		2 受動喫煙の防止と禁煙			
②庁舎内やイベント、区報で受診勧奨・資料の展示、配布等を行う		分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
事業の目標			4 がん検診の質の向上		
①市民ががん検診を受けたり、自己検診を各自で実施したりすることで、早期発見・早期治療に結びつける			5 在宅医療の推進		
②がん検診の受診勧奨、がんに対する正しい知識の普及により、受診意欲の向上を図る			6 緩和ケアの充実		
事業の対象者		7 相談支援体制の活用	8 情報提供の充実		
さいたま市民		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期/回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
成人向けの運動教室、母子を対象とした育児教室などでのミニ講義	継続	一部		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センター主催の教室に参加した市民 時期/回数：年間を通じて 対象人数：12~40名/回×16回
血圧測定コーナー（区民課前）へがん検診やタバコに関するポスターの掲示やリーフレットの設置	継続	なし		1 ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区役所に来庁された市民 時期/回数：年間を通じて実施
緑区区民まつりにおけるがん検診に関するポスターやリーフレットの掲示と配布など	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区区民まつりに来場に来庁された市民 時期/回数：10月に実施
さいたま市報（緑区版）へのがん検診受診勧奨検診記事の掲載	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：緑区在住の市民 時期/回数：市報（緑区版）に年1回掲載
乳がん自己検診法等の正しい予防知識の普及のための教室実施	継続	なし		① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区内在住18~64歳の女性 対象人数：16名に実施
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：岩槻区役所保健センター		令和 5 年度分			
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
①がん検診の受診勧奨 ②がん予防についての普及啓発		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標	①区民が、がん検診を受け、早期発見・早期治療につながる。 ②区民が、がん予防についての知識を得る。	分野別 施策 (参考)	3 がん検診の受診率の向上		
			4 がん検診の質の向上		
5 在宅医療の推進					
6 緩和ケアの充実					
7 相談支援体制の活用					
8 情報提供の充実					
9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実					
事業の対象者	岩槻区民				
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体	子育て支援センターいわつき、児童センター、岩槻区役所観光経済室、岩槻区役所コミュニティ課				
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
区報へのがん検診受診勧奨とアルコール・禁煙記事の掲載	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	回数：年4回
区内各施設にて、がん検診受診勧奨ポスターの掲示	継続			1 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：子育て支援センター・児童センター利用者 時期：通年
区役所3階ロビー、保健センターにおいてパンフレット設置	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：区役所来庁者 時期：通年
保健センター事業等での検診受診勧奨及びがん知識の啓発	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：生活習慣病予防教室等参加者、母子保健事業参加者
岩槻駅改札前通路にて啓発ポスター掲示	継続			① 2 ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：岩槻駅利用者
区民まつりにて、啓発ポスター掲示、チラシ配布、乳がん自己触診体験	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：保健センターブース来所者
区主催事業での啓発	継続			① ② ③ 4 5 6 7 8 9	対象者：他課主催事業参加者
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名:教育委員会事務局 学校教育部 指導1課				令和 5 年度分	
事業名		1 がんに関する正しい知識の普及			
学習指導要領に基づく保健学習指導		2 受動喫煙の防止と禁煙			
事業の目標		分野別施策 (参考)			
①がんに関する正しい知識を習得させる。 ②喫煙に関する正しい知識を習得させる。		3 がん検診の受診率の向上			
		4 がん検診の質の向上			
		5 在宅医療の推進			
		6 緩和ケアの充実			
		7 相談支援体制の活用			
		8 情報提供の充実			
		9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実			
事業の対象者					
市立全小・中学校の児童生徒					
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体					
教育委員会事務局 学校教育部 健康教育課					
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策 (該当する数字に○)	対象者、時期/回数、参加人数など
保健学習の実施	継続	なし		① ② 3 4 5 6 7 8 9	対象者:市立全小・中学校の児童生徒
取組の成果、感想など			今後の方向性		
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

各団体取組シート

団体名：健康教育課		令和 5 年度分			
事業名	学校におけるがん教育の推進	分野別施策 (参考)	1 がんに関する正しい知識の普及		
事業の目標			2 受動喫煙の防止と禁煙		
①がんについて正しく理解することができるようにする。 ②健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。			3 がん検診の受診率の向上		
	4 がん検診の質の向上				
	5 在宅医療の推進				
	6 緩和ケアの充実				
	7 相談支援体制の活用				
	8 情報提供の充実				
	9 市内事業所等との連携によるがん対策の充実				
事業の対象者	市立学校児童生徒・教職員・保護者				
事業を展開する上で協働する課所、機関、団体	教育委員会指導 1 課、健康増進課				
取組の内容	新規 継続	オン ライン	中止	分野別施策	対象者、時期／回数、参加人数など
				(該当する数字に○)	
各学校でのがん教育の取組の支援	継続			① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校 児童生徒、教職員、保護者
文部科学省主催研修会 参加	継続			① 2 3 4 5 6 7 8 9	対象者：市立各学校 教職員 等
取組の成果、感想など				今後の方向性	
<p>今回は記入不要です。 (次回、令和6年2月ごろに記載していただきます。)</p>					

※令和4年度第2回さいたま市がん対策推進協議会にて配布した資料と同様のものです。

資料 3 - 1

(仮称) 第2次さいたま市がん対策推進計画 策定スケジュール

令和5年5月17日時点

時期		さいたま市	国	
令和4年度	5月24日	第1回がん対策推進協議会	第3期がん対策推進基本計画 (平成29年度～令和4年度)	第4期がん対策推進基本計画 策定
	10月	がん対策推進協議会委員改選		
	10月～12月	データ・情報収集		
	1月17日	第2回がん対策推進協議会 ※骨子案概要提示		
	2～4月	骨子案作成		
令和5年度	5月	第1回がん対策推進協議会 ※骨子案審議	第4期がん対策推進基本計画 (令和5年度～)	
	6～7月	素案作成		
	8月	第2回がん対策推進協議会 ※素案審議		
	9月	素案完成		
	12月	議会報告、パブリック・コメント実施		
	1月	第3回がん対策推進協議会 ※計画(案)報告		
	2月	議会報告		
	3月	(仮称) 第2次がん対策推進計画確定		

(仮称) 第2次さいたま市がん対策推進計画 骨子案概要

1. 計画策定の目的

がんは本市の死因別死亡数の第1位であり、市民の生命及び健康にとって重大な問題となっています。本市では、がん検診の実施・啓発等によりがんの発症予防及び早期発見を中心に取組を進めてきました。

そのような中、国が国民運動としてがん対策を推進していくために平成18年に「がん対策基本法」を制定、翌平成19年に「がん対策推進基本計画」を策定しました。

本市では、このような状況を踏まえ、平成26年に「さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例」を制定し、本条例に基づきさいたま市がん対策推進協議会を設置いたしました。そして、条例の理念である市民が互いに支え合い、安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指すため、がん対策に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として、「さいたま市がん対策推進計画」を策定し、平成28年度から総合的な対策を講じてきました。その結果、市、市民、保健医療関係者及び事業者各々が連携して、包括的にがん対策を推進する取組がなされているところです。しかしながら、分野によっては取組の遅れが見られるためその強化のほか、新たな課題として、AYA (Adolescent and Young Adult) 世代 (思春期世代と若年成人世代) のがん、高齢者のがんといったライフステージに応じたがん対策も検討していく必要があります。

こうした背景を基に、「第2次さいたま市がん対策推進計画」は、全計画の計画期間終了を受け、これまでの取組や令和5年度施行されたがん対策基本計画を踏まえ、本市におけるがん対策をより一層推進するため策定するものです。

2. 計画の期間

本計画の計画期間は、国が定める「がん対策基本計画」及び埼玉県が定める「埼玉県がん対策推進計画」との整合を図り、令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間とします。なお、社会情勢の変化等によって見直しが必要になった場合には、計画期間内であっても、適宜内容の見直しを図ることとします。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(仮称) さいたま市健康増進計画	H25年度～H27年度(第2次)		健康増進計画						
がん対策推進基本計画	H29年度～第3期		第4期				評価	次期計画	
埼玉県がん対策推進計画	H30年度～第3期		第4期				評価	次期計画	
(仮称) 第2次さいたま市がん対策推進計画	H28年度～		第4期				評価	次期計画	

○関連計画において、特にがんに関連が深い健康について取り組んでいる「(仮称) さいたま市健康増進計画」と一体的に取組を推進します。

○本計画の評価を行う際には、「(仮称) さいたま市健康増進計画」におけるがんに関する取組の評価検証を踏まえ、総合的な評価を行います。

3. 基本理念

さいたま市がん対策の総合的かつ計画的な推進に関する条例の目的を鑑み第1次計画の理念を引き継ぎ、以下のとおりとします。

市民が互いに支え合い、がんになっても安心して暮らすことのできる地域社会の実現

4. 計画の体系

施策の柱1 がんの予防と早期発見の推進

1 がんの予防の推進

- 生活習慣の改善
- 受動喫煙の防止と禁煙
- ウイルス等への感染対策

2 がんの早期発見の推進

- がん検診の受診率の向上
- がん検診の質の向上

施策の柱2 がん医療の充実

1 がん医療の充実

- がん医療に携わる関係機関(拠点病院、訪問看護ステーション、薬局等)の連携強化
- 在宅医療の推進
- 緩和ケアの充実

施策の柱3 がん患者等の支援の充実

1 がん患者等の相談、情報提供体制の充実

- 相談支援体制の整備
- 情報提供の充実

2 ライフステージに応じたがん対策の充実

- 働く世代への就労支援
- 若年のがん患者への支援
- 高齢のがん患者への支援

施策の柱4 がん患者が安心して暮らせる社会づくり

1 がんに関する正しい知識の普及啓発

- がんに関する知識の普及

2 がん教育の充実

- 若い世代に向けたがん教育の推進

5. 重点的に取り組むべき課題

本計画期間中、施策の中で特に重点的に取り組むべき項目については、さいたま市がん対策推進協議会にて協議のうえ決定します。以下、案について例示。

がんの早期発見の推進

ライフステージに応じたがん対策の充実

がん教育の充実

(仮称) 第2次さいたま市がん対策推進計画の骨子案

分野別施策	現状	課題	施策の方向性	今後の取組 ★新規追加	目標指標 ★新規追加	(参考) 国の第4期目標指標
施策の柱1 がんの予防と早期発見の推進					・75歳未満のがんの年齢調整死亡率(人口10万対) ・(モニタリング) SMR(標準化死亡比全国を1としたとき)	
1 がんの予防の推進						
生活習慣の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・がんには生活習慣等が原因となっているものもあり、適切な生活習慣を実践することで予防できることが分かっている。 ・生活習慣について、目標指標を設定し、各団体で様々な取組を行ってきたが、ベースラインよりも悪化している指標が多い。 ・食生活、食の質が変化したことにより肥満の割合が増加している。 ・高齢者を中心に運動の機会が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙、節酒、減塩、バランスのとれた食事、運動、適正体重の維持といった生活習慣について、市民が主体的にできることから実践できるような取組を推進する必要がある。 ・次期健康増進計画と整合性を図りながら各取組を実施する必要がある。 ・健康診断の結果を生活習慣の改善につなげていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善について、積極的な情報発信を行う。 ・生活習慣の改善に関する教育を充実させる。 ・次期健康増進計画と整合性を図りながら各取組を実施する。 ・健康診断の結果から生活習慣の改善につなげるための情報発信を行う。 	【事業者・保健医療関係者】 <ul style="list-style-type: none"> ・食生活や適正体重の維持について、管理栄養士による栄養相談を実施。 ・市民公開講座等による情報発信。 【市】 <ul style="list-style-type: none"> ★オンラインを活用した教室等の取組を実施。 ・生活習慣病予防教室や体組成測定会等、生活習慣病とがん予防に関する教育を実施。 ・生活習慣の改善についてリーフレット等による普及啓発。 ・保健・体育、家庭科の授業での教育。 	★BMI18.5以上25未満(65歳以上はBMI20を超え25未満)の者の割合 ★20歳未満の飲酒者の割合 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、三食野菜を食べている人の割合 ・主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の人の割合 ・生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合 ・日常生活における1日の歩数(1日1時間以上歩く人の割合) ・運動習慣のある人の割合 ・特定健康診査の受診率 ・特定保健指導の実施率 	<ul style="list-style-type: none"> ・適正体重を維持している者の増加 ・食塩摂取量の減少 ・野菜と果物の摂取量の増加 ・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合の減少 ・未成年者の飲酒をなくす ・妊娠中の飲酒をなくす ・日常生活における歩数の増加 ・運動習慣者の割合の増加 ・地域を対象として、普及啓発に努めている拠点病院の割合
受動喫煙の防止と禁煙	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の喫煙率、未成年者の喫煙率、受動喫煙の機会を有する人の割合は減少傾向にある。 ・たばこに含まれるニコチンには依存性があり、やめたいと思ってもやめられないが、禁煙治療薬の供給停止により、禁煙支援が不十分である。 ・受動喫煙は、喫煙者本人だけでなく、たばこを吸わない周りの人にも健康被害を引き起こすため、受動喫煙防止に取り組む必要がある。 ・令和2年4月1日全面施行の改正健康増進法により受動喫煙の機会は減少しているが、家庭と職場については目標に達していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙の重要性を周知し、喫煙者に対する禁煙のきっかけづくりが必要である。 ・喫煙者が望んだタイミングで禁煙できる環境を整える必要がある。 ・家庭や職場における受動喫煙の機会を減少させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙の重要性をより多くの世代に周知するため取組を充実させる。 ・喫煙者が望んだタイミングで禁煙できる環境を整備する。 ・家庭や職場における受動喫煙防止の取組を推進する。 	【事業者・保健医療関係者】 <ul style="list-style-type: none"> ★禁煙イベントと関連させ、がん予防のイベントを実施し、受動喫煙や禁煙とがん予防との関連を周知。 ★受動喫煙のリスクと防止対策の周知。 ・経口薬のみではなくニコチンパッチなどを利用し、禁煙外来を実施。 【市】 <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時に、喫煙している妊婦やパートナーに対し、受動喫煙・禁煙に関する啓発・指導。 ・相談者の状況に合わせて禁煙外来マップを配布。 ・たばこの害や健康への影響及び受動喫煙に関する情報提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・受動喫煙の機会を有する者の割合の低下 ・20歳以上の者の喫煙率 ・20歳未満の者の喫煙率 	<ul style="list-style-type: none"> ・成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい者がやめる) ・未成年者の喫煙をなくす ・妊娠中の喫煙をなくす
ウイルス等への感染対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルスや細菌の感染は、男性では喫煙に次いで2番目に、女性では最も発がんが大きく寄与する因子となっている。 ・発がんに大きく寄与するウイルスや細菌としては、子宮頸がんの発がんに関連するヒトパピローマウイルス(HPV)、肝がんと関連する肝炎ウイルス、ATL(成人T細胞白血病)と関連するヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)、胃がんと関連するヘリコバクターピロリ等がある。 ・HPVワクチン接種の接種率が低迷している。 ・肝炎ウイルスに感染したが適切な治療を受けていない事例がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・HPVワクチン接種について、正しい情報が行き渡っていないため、接種対象者に対する適切な情報提供が必要である。 ・肝炎ウイルスに感染者について、早期発見・早期治療及びそれによる肝がんの発症予防のため、肝炎ウイルスの検査体制の整備や、ウイルス陽性者の受診勧奨が必要である。 ・HTLV-1対策について、母子感染を防ぐことを目的として、妊婦健康診査の検査項目の1つとして引き続き受診勧奨する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの原因となる感染の検査、治療、感染予防のための取組を実施する。 ・HPVワクチン接種や感染対策に関する適切な情報を提供する。 ・肝炎ウイルスの検査体制を整備し、周知を行う。 ・HTLV-1抗体検査の受診勧奨を実施する。 	【事業者・保健医療関係者】 <ul style="list-style-type: none"> ・HPVワクチン接種についての情報提供。 ・HCV抗体、HBV抗原陽性者への治療勧奨。 【市】 <ul style="list-style-type: none"> ・HPVワクチンの個別勧奨。 ・肝炎ウイルス検診の実施。 ・母子健康手帳配布時に妊婦健康診査の案内。 ・感染症に関するポスターの掲示及びチラシの配架。 	★HPV予防接種実施率 ★B型肝炎定期予防接種実施率	<ul style="list-style-type: none"> ・HPV感染率、CIN発見割合など ・肝疾患専門医療機関数 ・肝炎医療コーディネーターの養成者数 ・B型肝炎定期予防接種実施率 ・B型・C型肝炎ウイルス検査受検率 ・B型・C型肝炎ウイルス陽性者数 ・HTLV-1関連のホームページへの閲覧数 ・HTLV-1関連の窓口数 ・HTLV-1の保健所の検査数 ・HTLV-1抗体検査の公費負担実施率 ・ヒトT細胞白血病ウイルス1型感染率

分野別施策	現状	課題	施策の方向性	今後の取組 ★新規追加	目標指標 ★新規追加	(参考) 国の第4期目標指標
2 がんの早期発見の推進						
がん検診の受診率の向上	<p>・本市では、国が示す「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を踏まえ、胃がん検診、大腸がん検診、肺がん・結核検診、乳がん検診及び子宮がん検診を実施している。また、肝がん対策としての肝炎ウイルス検診を実施しているほか、市が独自に前立腺がん検診を実施している。</p> <p>・がん検診の受診は、がんの早期発見・早期治療につながるため、がんの死亡者を更に減少させていくためには、がん検診の受診率向上が必要不可欠である。</p> <p>・コロナ禍における受診控えにより、がん検診の受診率はいずれの検診においてもペースラインを下回っている。</p> <p>・乳がん、子宮がんの検診実施医療機関が少ない。</p> <p>・子宮がん検診に抵抗のある人が多い。</p> <p>・市民の身近なところに検診を受けられる場所がない。</p>	<p>・検診の重要性について、周知する必要がある。</p> <p>・がん検診を受診しやすい体制を整備する必要がある。</p> <p>・職域も含めたがん検診受診率の実態の把握に努める必要がある。</p>	<p>・がん検診の重要性に関する正しい知識の普及啓発を行う。</p> <p>・検診の重要性について、イベントにおける普及啓発やSNSの活用による啓発、個別勧奨などアプローチ方法を工夫し受診率を向上させる取組を実施する。</p>	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>★地域医療機関との検診を通じた連携強化。</p> <p>★公開講座などで検診受診の呼びかけ。</p> <p>・がん検診による早期発見の重要性について、周知。</p> <p>【市】</p> <p>★若い世代や無関心層へのがん検診受診勧奨、普及啓発の実施。</p> <p>・がん検診対象初年度無料事業の実施。</p> <p>・企業等と連携し、啓発物の配布や動画配信を活用したがん検診に関する普及啓発を実施。</p>	<p>・がん検診受診率</p>	<p>・受診勧奨実施市町村数</p> <p>・普及啓発キャンペーンの実施状況</p> <p>・指針に基づく検診の実施率</p> <p>・検診受診率</p>
がん検診の質の向上	<p>・精密検査が必要であると判断された市民に対して、個別に精密検査受診勧奨を実施している。</p> <p>・がんの早期発見・早期治療には、がん検診受診率だけでなく、精密検査受診率の向上も重要である。</p> <p>・精密検査受診者の割合は増加しており、一部の検査は目標値を上回っている。</p>	<p>・精密検査の確実な受診に向け、受診状況を正確に把握し、受診を促進する必要がある。</p> <p>・一部、がん検診指針にない検診や市独自のがん検診を実施しているため、科学的根拠があり有効性が評価されたがん検診の実施を地域の状況等も踏まえ検討していくことが必要である。</p>	<p>・精密検査未受診者に対する啓発方法を工夫し、受診率を向上させる取組を実施する。</p> <p>・がん検診指針を踏まえた科学的根拠に基づく質の高い検診を実施する。</p> <p>・がん検診の精度管理指標に関するモニタリング（受診状況の正確な把握）と精度向上に努める。</p>	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>・市民向けの公開講座を実施。</p> <p>【市】</p> <p>・精密検査受診対象者に個別の受診勧奨。</p> <p>・SNSを活用した精密検査の受診を促進させる啓発。</p> <p>・市ホームページで精密検査の方法等の情報を掲載。</p>	<p>★がん検診精密検査でのがん陽性反応的中度</p> <p>・がん検診精密検査受診者の割合</p>	<p>・精検受診率</p> <p>・がん発見率</p> <p>・偽陽性割合</p>

分野別施策	現状	課題	施策の方向性	今後の取組 ★新規追加	目標指標 ★新規追加	(参考) 国の第4期目標指標
施策の柱2 がん医療の充実						
1 がん医療の充実						
がん医療に携わる関係機関の連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ・がん治療には、放射線療法、化学療法、手術療法等の治療法がある。国や県では、地域における各種がん治療に関する医療連携を推進することで、安心かつ安全な質の高いがん医療を提供することを目指している。 ・質の高いがん医療を提供するためには、治療の精度だけでなく、がん患者及びその家族が主体的に療養の選択を行える環境整備が重要である。 ・環境整備のためには、がん診療連携拠点病院を中心とした医療機関連携が必要であるが、定例的な情報交換が不足している。 ・薬局等関係機関との連携に活用するツールが統一化されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の3か所のがん診療連携拠点病院が中心となり、3か所の埼玉県がん診療指定病院等と連携をとりながらがん医療を推進する必要がある。 ・各医療機関が関係機関との連携を図り、組織的に患者の診療に携わる土台を構築する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院を中心に、地域の医療機関や介護事業所、薬局等の地域の関係機関との連携を促進する取組を行う。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院 ・がん診療連携拠点病院間におけるカンファレンス、キヤンサーボードの実施。 ・訪問診療に携わる医療機関への感謝状の授与。 ・関係医療機関を招いてのがん公開講座。 <p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携強化のための関係医療機関への訪問。 ・訪問診療に携わるスタッフががん診療連携拠点病院開催の研修会に参加。 ・薬業連携を推進し地域連携へつなげる。 ・がんに関わる専門薬剤師、専門医療機関連携薬局の推進。 	<p>★がん対策推進協議会における地域の連携状況に関する議論実施状況</p> <p>★(モニタリング) 専門医療機関連携薬局の認定数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア診療加算の算定回数 ・栄養サポートチーム加算の算定回数 ・都道府県協議会における地域の連携状況に関する議論実施状況 ・がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している拠点病院の割合 ・主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合 ・医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合 ・専門医療機関連携薬局の認定数 ・地域緩和ケア連携調整員研修受講者数 ・診療情報提供料の算定数 ・がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合 ・患者と医師間で最期の療養場所に関する話し合いがあった ・紹介先の医療機関を支障なく受診できた患者の割合
在宅医療の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者が、がんと診断されてから、住み慣れた自宅等で自分らしい生活を続けるためには、入院医療や外来医療、介護、福祉サービスと相互に補完しながら、患者の日常生活を支える在宅医療が不可欠である。 ・在宅療養支援診療所や病院は増加しており、がん患者の在宅看取り率も計画開始時から倍増している。 ・在宅医療にアクセスしづらい地域がある。 ・希望する患者に対し、支援体制が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養支援診療所や訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所等との連携を強化し、在宅医療の充実を図る必要がある。 ・在宅療養を希望するがん患者とその家族に向けて若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業等の在宅療養に関わる情報を周知する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・入院医療を行う医療機関と在宅療養支援診療所、訪問看護事業所等の医療・介護を担う機関が連携し、在宅療養を希望する患者やその家族等の療養生活を支えるための体制を整備する。 ・医療関係者や市民に、若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業等の在宅療養に関わる情報を周知する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院連携のために地域のクリニックへの訪問活動を実施。 ・拡大カンファレンスの実施によるシームレスなケアの継続。 ・在宅に関わる専門的研修会の実施。 <p>★オンラインを活用した他医療機関との情報共有。</p> <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業の周知。 	<p>★若年の末期がん患者の在宅療養生活支援の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(モニタリング) 在宅療養支援診療所・病院数 ・(モニタリング) がん患者の在宅看取り率 ・在宅療養を支援する機関における研修や会議等の開催回数 	
緩和ケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者とその家族は、がん自体に起因する痛み、がん治療に伴って生じる痛み等、様々な痛みを感じている。 ・緩和ケアは、「その人らしさ」を大切に、身体的・精神心理的・社会的苦痛等について、つらさを和らげる医療やケアを積極的に行うものである。 ・緩和ケア体制が十分でない。 ・緩和ケアの認知度が低い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がんと診断されてからの期間や病状に関係なく、入院、外来、在宅療養等、様々な場面で切れ目なく実施する必要がある。 ・診療初期からの患者やその家族への緩和ケアを多職種で連携し実施する必要がある。 ・市民の緩和ケアに対する理解を促進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院を中心とした連携体制を推進する。 ・緩和ケアの充足に向け、多職種間の連携を強化する取組を実施する。 ・市民の緩和ケアに対する理解を促進するため、普及啓発を引き続き実施していく。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア外来及び緩和ケア病棟の運用。 ・医療従事者への緩和ケア研修の実施。 ・地域の緩和ケア勉強会などで緩和ケアの知識の啓発を進め、相談業務を周知・拡充させる。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや講演会、がん教育出前講座等を活用した、緩和ケアについての周知啓発。 	<p>★緩和ケアに関する取組実施数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点病院の緩和ケアチーム新規診療症例数 ・特定疾患治療管理料 ・緩和ケア外来の新規診療患者数 ・1拠点病院あたりの地域連携推進のための他施設合同会議の開催数 ・神経ブロックの実施数 ・緩和的放射線照射の実施数 ・緩和ケア外来の新規診療症例数 ・緩和ケア外来への地域の医療機関からの紹介件数 ・その他世論調査、遺族調査、患者体験調査から

分野別施策	現状	課題	施策の方向性	今後の取組 ★新規追加	目標指標 ★新規追加	(参考) 国の第4期目標指標
施策の柱3 がん患者等の支援の充実						
1 がん患者等の相談、情報提供体制の充実						
相談支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> がん診療連携拠点病院は、がん相談支援センターを設置し、がん患者及びその家族が相談できる環境整備を実施している。 がん診療連携拠点病院では患者サロンとして院内の一部を開放し、がん患者同士の情報交換やネットワークを構築するための場所を提供しているが、相談支援センターの活動に関する周知が十分でない。 新型コロナウイルスの影響により、がんサロンや患者会が一時中断したため、支援の機会が減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> がん患者が必要に応じて確実に支援を受けられるよう、がん相談支援センターの患者サロン等の活動について説明することに加え、適切な広報を行うことで更なる相談支援体制の整備を推進する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センターの設置場所や活動内容が市民に十分に認知されていないため、地域の関係機関等と連携し、自施設に通院していない者も含む患者やその家族等へ適切なタイミングで周知できるよう引き続き取り組む。 コロナ禍で活動を制限する団体も多かったが、対面相談に加え電話やオンライン面会等を利用することで、来院しづらい患者やその家族等への相談機会を充実させる体制整備を検討する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★来院・面会制限の緩和や、オンライン面会の利用等で患者や家族との面接機会の更なる充実を図る。 ★相談支援センターの設置場所やスペースを拡充し、患者やその家族が相談支援センターを十分に活用できる環境を整備する。 ★薬剤師会として相談事業への参画、各自治会と連携した患者サロンでのイベント開催。 ・ホームページやチラシ等による周知。 ・患者サロン希望者と個別面談。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センター等相談窓口の情報提供。 	<p>★がん相談支援センターにおける相談件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域（全国）がん登録により明らかになった罹患率及び生存率等の情報提供の実施状況 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センターでの新規相談件数 相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の人数 上記のうち、フォローアップ研修を受講したがん相談支援センターの相談員の人数 ・1拠点病院あたりの連携している患者団体の数 ・1拠点病院あたりの体験を語り合う場の開催 がん相談支援センターの認知度 ・治療法や病院についてがん相談支援センターで情報入手しようと思う人の割合 ・がん診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合 ・ピアサポーターの認知度 ・相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合 ・ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合 ・がん患者の家族の悩みや負担を相談できる支援・サービス・場所が十分であると回答する者の割合
情報提供の充実	<ul style="list-style-type: none"> がん患者が必要とする情報は、治療法、就労に関する情報、介護保険サービスの情報等それぞれの治療の段階やライフステージによって異なる。 がんに関する情報について、市ウェブサイトを通じて情報提供を実施している。 がんに関する情報提供や相談支援センターの存在、活動内容に関する周知が十分でない。 情報を入手するのに時間がかかる。 信頼性のある情報を入手できていない可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全ての患者やその家族等、医療従事者等が、確実に、必要な情報及び正しい情報にアクセスできる環境を整備する必要がある。 障害のある方や高齢者等の意思決定を支援する情報提供を行う等、利用者に合わせて情報提供を実施する必要がある。 様々な情報がある中で、必要とする情報を必要とするときに入手できる体制づくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> すべてのがん患者やその家族等が、確実に、必要な情報及び正しい情報にアクセスできる環境を整備する。 治療法や就労に関する情報等、がん患者の状況に応じて必要とする情報は様々であるため、情報を利用する人が確実に情報を入手できるよう多様な情報提供を検討する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ホームページの充実やSNSを活用した情報発信により、がん患者が情報を得やすい環境を整備する。 相談支援センターの拡充を図る。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★公共施設に健康コーナーを設置し、情報が入手できる場所や方法について周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> 市ウェブサイト内の「がんに関する情報」のアクセス数 	<ul style="list-style-type: none"> がん情報サービスにアクセスした件数 がん情報サービスにおけるコンテンツ数 がん情報サービスにおける展示資料、音声資料数、資料の更新数 治療法や病院についてがん相談支援センターで情報入手しようと思う人の割合 がん情報サービスにアクセスし、探していた情報にたどりつくことができた人の割合 がん診断～治療開始前に病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合

分野別施策	現状	課題	施策の方向性	今後の取組 ★新規追加	目標指標 ★新規追加	(参考) 国の第4期目標指標
2 ライフステージに応じたがん対策の充実						
働く世代への就労支援	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年時点で、がん患者の約4人に1人は、20歳から64歳までの間にがん罹患しているが、がん医療の進歩により、働きながらがん治療を受けられる可能性が高まっている。 働く世代のがん患者の離職防止や再就職のための就労支援を充実させていくことが強く求められているが、がん治療と就労の両立や再就職について不安を感じるがん患者が多い。 がん治療に伴う通院、入院が原因で仕事の継続が困難になるがん患者が多い。 主治医と産業医や衛生管理者、保健師等の企業側の支援者との連携が図れていない。 職場におけるがん患者への理解が不足していることにより、治療しながらでも働くことができる体制が整っていない。 アピアランスケアに関するサポートや周知が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員が安心して働き続けられるように、仕事と治療の両立が実現できる環境整備を推進する必要がある。 がん患者の再就労に向けた支援が必要である。 治療と社会参加の両立を支援するため、アピアランスケア支援の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 医療機関において就労支援に携わる者が、産業医等と連携し、患者・事業主間の治療と仕事の両立へ向けた調整を支援できる体制の整備に取り組む。 職場に対するがんに関する正しい知識の普及啓発を実施する。 働く世代のがん患者や事業所の相談支援窓口に関する情報を提供する。 アピアランスケアについては、ライフスタイルに合った選択ができる情報提供や相談支援体制を整備する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>★院内にAYAチームを設置し連携する。</p> <p>★産業医を含めた研修。</p> <ul style="list-style-type: none"> ハローワークから職員を派遣してもらい、就労支援を実施。 がん診療連携拠点病院と連携し、お仕事相談を実施。 就労支援が必要な患者に対して情報提供を行い、支援を受けられるよう医療ソーシャルワーカーに繋げる。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページや講演会等において、相談支援窓口に関する情報を提供する。 アピアランスケア支援体制の整備。 	<p>★がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業所・従業員への相談支援窓口の案内の機会 	<ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数 療養・就労両立支援指導料の算定件数
若年のがん患者への支援	<ul style="list-style-type: none"> 若年のがん患者は、利用できる支援制度に限りがある等の理由から、在宅で療養することを希望しても、患者やその家族等の身体的・精神心理的・経済的な負担が大きいことが指摘されている。 就学、就労、妊孕性温存など年齢に合わせた柔軟な支援が必要になるが、他医療機関や行政との連携が十分整備されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年のがん患者の実態を把握する必要がある。 がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等との連携を含め、地域の実情に応じた若年がん患者のがん医療提供体制を整備する必要がある。 ライフステージに応じた支援を実施する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 若年がん患者の実態把握に努めるとともに、年齢に合わせた医療提供体制を整備する。 若年がん患者の状況に応じた個別の支援を検討。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>★埼玉県がん診療連携拠点病院を軸として、AYA世代がん診療の相互連携を充実させていく。</p> <p>★サポート体制の構築。</p> <ul style="list-style-type: none"> AYA世代支援チームを立ち上げ、研修や啓発活動を実施。 <p>【市】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業の周知。 がん罹患している妊産婦や保護者への個別フォロー。 	<p>★若年の末期がん患者の在宅療養生活支援の実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> 若年の末期がん患者の在宅療養生活支援の実施状況 (モニタリング) 在宅療養支援診療所・病院数 (モニタリング) がん患者の在宅看取り率 在宅療養を支援する機関における研修や会議等の開催回数
高齢のがん患者への支援	<ul style="list-style-type: none"> 高齢のがん患者については、認知機能低下により、身体症状や意思決定能力などに影響を及ぼす可能性があることや認知症の進行により日常生活における支援が必要となることなどが指摘されている。 認知症の発症や介護の必要性など、家族等の負担が大きくなる。 年齢階級別罹患数の割合では、7割以上が65歳以上の高齢者である。 外来治療中の患者に対するサポートが不足している。 高齢者はがんだけでなく複数の疾患を有している場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> がん治療だけでなく、認知症の発症や介護の必要性など日常生活を踏まえた支援が必要である。 高齢のがん患者に対する意思決定支援の体制を整備する必要がある。 住み慣れた自宅での療養を支援する体制を整備する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切ながん医療が受けられるよう、地域の医療機関及び介護事業所等との連携体制を整備する。 高齢のがん患者が適切な意思決定に基づき治療を受けられるよう、高齢のがん患者やその家族等の意思決定支援に係る取組を推進する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>★合併症を持っていても安心してがん治療が受けられるよう、総合内科を充実。</p> <p>★「高齢者がん診療ガイドライン」に沿ったアセスメントの導入。</p> <p>【市】</p> <p>★高齢のがん患者の意思決定支援のサポート体制を強化。</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携推進事業により、医療・介護関係者の連携強化や市民への普及啓発を推進。 	<p>★高齢のがん患者への支援に関する情報提供</p> <p>★医療・介護関係者への研修の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の数。 介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定） 退院時共同指導料1の算定数（がん患者に限定） 意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている拠点病院数。

分野別施策	現状	課題	施策の方向性	今後の取組 ★新規追加	目標指標 ★新規追加	(参考) 国の第4期目標指標
施策の柱4 がん患者が安心して暮らせる社会づくり						
1 がんに関する正しい知識の普及啓発						
がんに関する知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> ・がんに関する知識の普及啓発について、がん情報サービスやがん診療連携拠点病院等における相談支援センターの広報により、取組を進めてきた。 ・科学的根拠に乏しい情報が多く存在することで、患者やその家族等が必要な情報に適切にアクセスすることが難しい。 ・コロナ禍で市民に直接啓発する機会は減少したが、SNSを活用するなど啓発方法を工夫しながら取組を実施している。 ・がんに関する様々な情報があふれる中で、必ずしもがんに関する正しい知識にアクセスできていないとは限らない。 ・がん患者やその家族への積極的な情報発信が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き学習指導要領に基づく、児童生徒の発達段階に応じたがん教育を推進する必要がある。 ・ライフステージに応じた効果的な啓発方法の検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民向け講演会の開催やSNSを活用した情報発信など、市民が必要とする情報にアクセスしやすい環境を整備する。 ・若い世代からがんに関する正しい知識が身に付くよう、医療従事者やがん経験者等の外部講師を積極的に活用し、がん教育出前講座を実施する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>★講演活動のほか、ホームページやSNSを活用した正しいがんの知識の普及促進。</p> <p>・ターゲットを設定し、ターゲットごとにアプローチ方法を検討する。</p> <p>・がんサロンや市民講座、院内の患者向け講座での情報発信。</p> <p>【市】</p> <p>・イベントにおける啓発だけでなく、ホームページやSNSを活用した情報発信。</p> <p>・がん教育出前講座で、医療従事者やがん経験者等からがんに関する正しい知識を伝える。</p>	<p>★市民向けの講演会や講座の実施数</p> <p>・市ウェブサイト内の「がんに関する情報」のアクセス数</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん情報サービスに含まれる項目数 ・1拠点病院あたりの、連携している患者団体数 ・がん対策推進企業アクションの参加企業数
2 がん教育の充実						
若い世代に向けたがん教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切である。 ・がん教育が学習指導要領に加わったが、教育現場では具体的にどのように指導すべきか分からないという声が多い。 ・講師の育成が進んでいない。 ・若い世代に向けた普及啓発の機会が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に向け、教育現場での普及啓発の機会を増やす必要がある。 ・学習指導要領に基づきがん教育を実施する教師への正しい知識の普及啓発が必要である。 ・がん教育に対応可能な人材を確保するとともに、医療従事者やがん経験者等の外部講師の積極的な活用を教育現場に周知する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師によるがん教育出前講座等、がんに対する理解を深める機会を提供する。 ・学校の保健体育等の授業と連携しつつ、外部講師によるがん教育を促進する。 	<p>【事業者・保健医療関係者】</p> <p>・がん教育に対応可能な医療従事者の育成。</p> <p>・がん教育出前講座への講師派遣。</p> <p>【市】</p> <p>・教育現場において、学習指導要領に基づきがん教育を実施。</p> <p>・学校に講師として医師や看護師を派遣し、がん教育出前講座を開催。</p>	<p>★外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合 ・がんは、誰もがかかる可能性のある病気である「そう思う」と回答した割合 ・がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思うと回答した割合

がん患者のアピランスケアについて

1 現在のさいたま市の取組

(1) 情報提供

- ・ 医療用ウィッグ・サポート店一覧の公開

医療用ウィッグの調整や販売等ができる美容室の情報をまとめた一覧を作成し、さいたま市ホームページに掲載。

- ・ がん相談支援センターの案内

市内の地域がん診療連携拠点病院や埼玉県がん診療指定病院が行うアピランスケアの情報及びがんについての相談先であるがん相談支援センターの情報をさいたま市ホームページに掲載。

- ・ がん対策推進講演会の開催

令和5年3月に開催したさいたま市がん対策推進講演会では、「もしがんにかかったら～わたしの体や仕事はどうなるの?」をテーマに、薬物療法による身体の変化とアピランスケアについて周知。

(2) 社会からの理解を促すための啓発活動

- ・ がん教育出前講座

市立の各学校の児童・生徒、教員及び保護者を対象とし、がん教育出前講座としてがん経験者から体験談を伝えるなど、若いうちから、がん患者の治療に伴う身体の変化に対する理解を深めるための機会を提供。

2 他自治体のアピランスケアに係る支援の状況（令和5年4月現在）

(1) 政令指定都市

支援内容	実施自治体数	補助率	補助上限金額
医療用ウィッグ 購入費補助	12 団体 うち R5.4 月開始 2 団体	購入費の 5 割 (9 団体) 購入費の 10 割 (3 団体)	1 万円 (1 団体) 2 万円 (4 団体) 2 万 5 千円 (1 団体) 3 万円 (5 団体) 5 万円 (1 団体)
乳房補整具購入 費補助	7 団体 うち R5.4 月開始 1 団体	購入費の 5 割 (5 団体) 購入費の 10 割 (2 団体)	補整下着 : 1 万円～3 万円 人工乳房 : 1 万円～10 万円

(2) 埼玉県内の市町村

支援内容	実施自治体数	補助率	補助上限金額
医療用ウィッグ 購入費補助	10 団体 うち R5.4 月開始 6 団体	購入費の 5 割 (1 団体) 購入費の 10 割 (9 団体)	1 万円 (6 団体) 1 万 5 千円 (1 団体) 2 万円 (1 団体) 3 万円 (2 団体)
乳房補整具購入 費補助	3 団体 うち R5.4 月開始 3 団体	購入費の 5 割 (1 団体) 購入費の 10 割 (2 団体)	・補整下着：2 万円 } (1 団体) ・人工乳房：10 万円 } 胸部補正具：1 万円 (2 団体)

3 医療用ウィッグ・サポート店へのヒアリング結果

令和3年度、令和4年度にさいたま市ホームページに掲載している医療用ウィッグ・サポート店のうち12店を訪問し、医療用ウィッグを利用しているがん患者についてヒアリングを実施。

(1) 医療用ウィッグ利用期間

1年未満から、5年以上まで開きがあるが、最も多い利用期間は1年以上3年未満。

(2) 医療用ウィッグ購入額

1万円未満から、10万円以上まで開きがあるが、1万円以上が殆どを占める。

(3) 医療用ウィッグ購入数

1個から、3個以上まで開きがあるが、最も多い購入数は1個。

さいたま市若年がん患者ターミナルケア在宅療養生活支援事業 について

1 令和4年度の利用申請状況について

(1) 利用申請件数 5件

利用申請の内、利用サービスの件数は以下の通りです。

訪問介護：0件 訪問入浴介護：0件 福祉用具貸与：3件 福祉用具購入：1件 意見書作成料：3件

2 医療機関に行ったアンケート結果について

(1) 調査期間 令和4年2月1日から令和5年1月31日までの期間

(2) 回答元 7か所（埼玉県内の都道府県がん診療連携拠点病院、さいたま市内の地域がん診療連携拠点病院、さいたま市内の埼玉県がん診療指定病院）

(3) アンケート集計結果（抜粋）

●貴院の患者に本事業の案内を行ったことはありますか。

ある：3か所（案内をした患者数は1か所当たり1～4人） ない：4か所

●本事業は患者及びその家族の経済的負担の軽減に寄与すると思いませんか。

思う：5か所 思わない：1か所 両方選択：1か所

●各対象サービスの補助について、患者のニーズ（サービス内容、補助金額）に合致した内容だと思いませんか。 （回答か所数）

	思う	やや思う	どちらでもない	やや思わない	思わない
訪問介護	1	1	3	2	0
訪問入浴介護	1	1	4	1	0
福祉用具の貸与	2	3	1	1	0
福祉用具の購入	2	3	2	0	0
意見書作成料	3	1	1	1	1

「やや思わない」、「思わない」の理由は、「補助金額が少額」、「利用が見込まれない」等。

●在宅療養生活を支援するために、本事業の継続は必要だと思いませんか。

はい：7か所 いいえ：0か所

●その他自由意見

【制度の見直しの検討について】

- ・申請から給付までの期間を短縮化してほしい。
- ・給付方法を介護保険と同様の受領委任払いに変更してほしい。

今後も、アンケート結果を踏まえ、本事業の周知に努めるとともに、様々な御意見を注視しながら、事業を継続してまいります。